

2026 年度

授業大要（シラバス）

（第 4・5・6 学年）

松本歯科大学

3つのポリシー

教育目標を達成するために必要な3つのポリシー、すなわち「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）」を制定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 歯科医師になろうとする強い意志を持っている。
2. 歯科医学を習得するために必要な基礎的な学力を備えている。
3. 生命科学を学ぼうとする意欲を備えている。
4. 相手を理解し、自分の意思を適確に伝えることができる。
5. 諸問題を抽出・理解し、自分の考えをまとめることができる。
6. 国際的視野で思考し社会に貢献しようと考えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

松本歯科大学は豊かな人間性を有した歯科医師を育成するために、以下にカリキュラムポリシーを定める。

1. ディプロマポリシーを達成するために6年一貫の弾力的なカリキュラム編成を行う。
2. 歯科医師として具備すべき、教養、倫理観を育成するために人文科学系科目、社会科学系科目を設置する。
3. 歯科医学の基礎及び臨床科目の理解に必要な知識を育成するために、自然科学系科目を設置する。
4. 歯科医学を勉学する動機づけのために早期体験型科目を設置する。
5. 国際的視野で社会貢献するために必要な外国語能力やコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
6. 歯科医療の専門知識と技能を養成するために専門基礎科目及び専門臨床科目を設置する。
7. 歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得するために、診療参加型臨床実習を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業に関する方針）

1. 歯科医師として倫理観を身につける。
2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

2026年度 授業科目履修基準表

学則 第8条 別表2

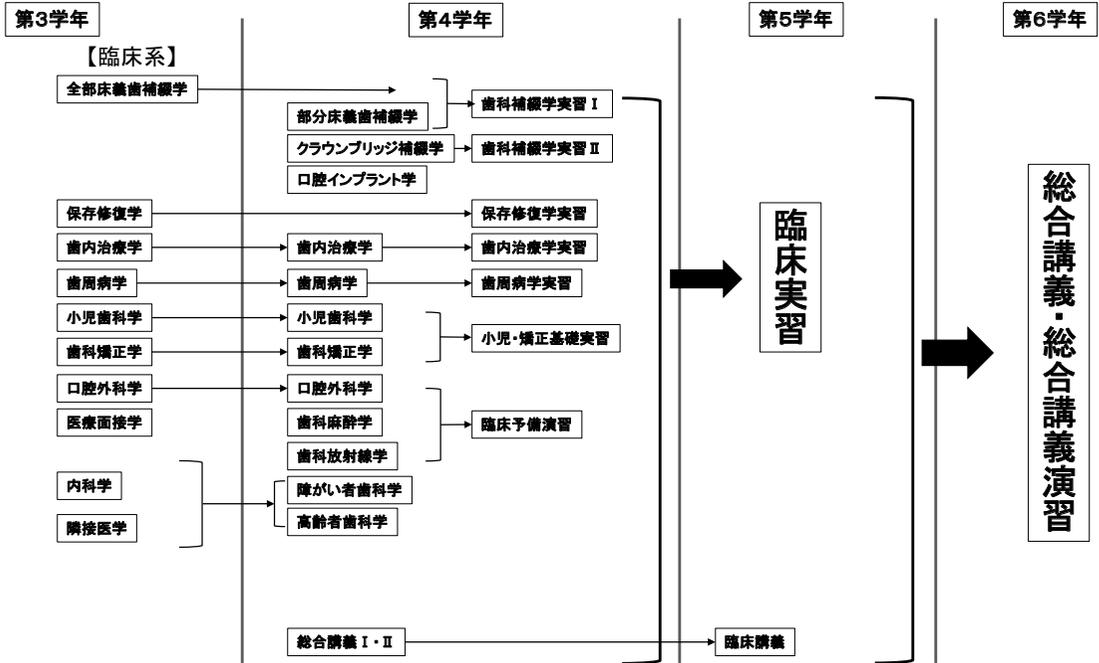
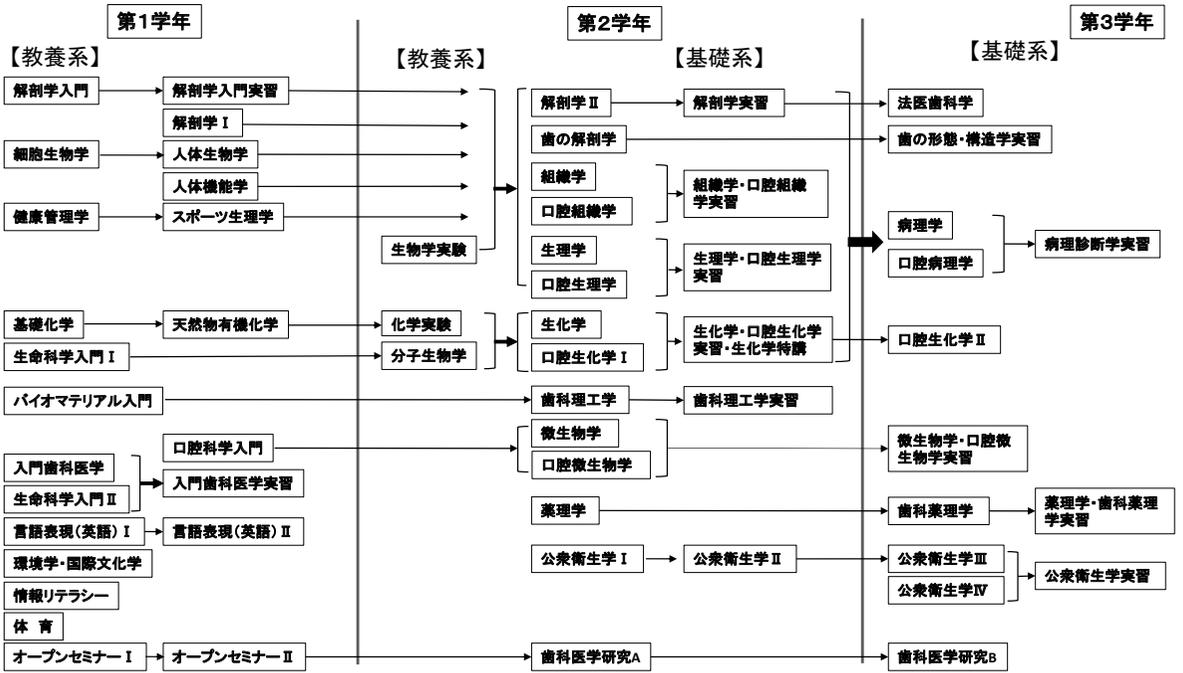
科目コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期						備 考						
				時間	単位	第1学年		第2学年		第3学年			第4学年		第5学年		第6学年	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
教 養 教 育 科 目	A1010 入 門 歯 科 医 学	講義	必修	30	1	1												
	A1020 生 命 科 学 入 門 I	講義	必修	30	1	1												
	A1025 生 命 科 学 入 門 II	講義	必修	30	1	1												
	A1030 入 門 歯 科 医 学 実 習	実習	必修	120	4	2	2											
	A1041 人 体 機 能 学	講義	必修	30	1	1												
	A1046 環 境 学・国 際 文 化 学	講義	必修	30	1	1												
	A1050 体 育	実技	必修	60	2	1	1											
	A1060 情 報 リ テ ラ シ ー	講義	必修	30	1													
	A1070 口 腔 科 学 入 門	講義	必修	30	1		1											
	A1080 解 剖 学 入 門	講義	必修	30	1	1												
	A1100 言 語 表 現 (英 語) I	講義	必修	60	2	2												
	A1110 言 語 表 現 (英 語) II	講義	必修	60	2		2											
	A1160 基 礎 化 学	講義	必修	60	2	2												
	A1170 天 然 物 有 機 化 学	講義	必修	30	1		1											
	A1175 バイオマテリアル入門	講義	必修	30	1		1											
	A1180 健 康 管 理 学	講義	必修	30	1	1												
	A1185 ス ポ ー ツ 生 理 学	講義	必修	30	1		1											
	A1190 細 胞 生 物 学	講義	必修	30	1	1												
	A1195 人 体 生 物 学	講義	必修	30	1		1											
A1200 オ ー プ ン セ ミ ナ ー I	講義・演習	選択	30	1	(1)													
A1210 オ ー プ ン セ ミ ナ ー II	講義・演習	選択	30	1		(1)												
A2010 化 学 実 験	実験	必修	30	1			1											
A2020 生 物 学 実 験	実験	必修	30	1			1											
A2030 分 子 生 物 学	講義	必修	30	1			1											
	小 計			930	31	28	単位	3	単位	0	単位	0	単位	0	単位	0	単位	
専 門 教 育 科 目	B1090 解 剖 学 I	講義	必修	30	1		1											
	B1120 解 剖 学 入 門 実 習	実習	必修	30	1		1											
	B2050 解 剖 学 II	講義	必修	30	1			1										
	B2060 歯 科 解 剖 学	講義	必修	30	1				1									
	B2070 歯 科 解 剖 学 実 習	実習	必修	120	4			1	3									
	B2080 組 織 学	講義	必修	30	1			1										
	B2090 口 腔 組 織 学	講義	必修	30	1				1									
	B2095 組 織 学・口 腔 組 織 学 実 習	実習	必修	90	3				3									
	B2100 生 理 学	講義	必修	60	2			2										
	B2110 口 腔 生 理 学	講義	必修	30	1				1									
	B2120 生 理 学・口 腔 生 理 学 実 習	実習	必修	60	2				2									
	B2130 生 化 学	講義	必修	60	2			2										
	B2140 口 腔 生 化 学 I	講義	必修	30	1				1									
	B3030 口 腔 生 化 学 II	講義	必修	30	1					1								
	B2150 生 化 学・口 腔 生 化 学 実 習・生 化 学 特 講	実習	必修	60	2				2									
	B2160 微 生 物 学	講義	必修	60	2			2										
	B2165 口 腔 微 生 物 学	講義	必修	30	1				1									
	B3050 微 生 物 学・口 腔 微 生 物 学 実 習	実習	必修	60	2					2								
	B2170 薬 理 学	講義	必修	30	1				1									
	B3060 歯 科 薬 理 学	講義	必修	60	2					2								
	B3070 薬 理 学・歯 科 薬 理 学 実 習	実習	必修	60	2					2								
	B2175 公 衆 衛 生 学 I	講義	必修	30	1			1										
	B2176 公 衆 衛 生 学 II	講義	必修	30	1				1									
	B3090 公 衆 衛 生 学 III	講義	必修	30	1					1								
	C3095 公 衆 衛 生 学 IV	講義	必修	30	1						1							
	B3100 公 衆 衛 生 学 実 習	実習	必修	60	2						2							
	B3110 病 理 学	講義	必修	60	2					2								
	B3130 口 腔 病 理 学	講義	必修	60	2						2							
	B3120 病 理 診 断 学 実 習	実習	必修	90	3							3						
	B2180 歯 科 理 工 学	講義	必修	90	3			2		1								
	B2190 歯 科 理 工 学 実 習	実習	必修	60	2					2								
	C3150 全 部 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2					1	1							
	C4010 歯 科 補 綴 学 実 習 I	実習	必修	90	3								3					
	C4020 部 分 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2								2					
	C4030 歯 科 補 綴 学 実 習 II	実習	必修	90	3								2					
	C4040 クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2								2					
	C3160 歯 科 形 態・構 造 学 実 習	実習	必修	60	2					2								
	C3170 保 存 修 復 学	講義	必修	60	2					1	1							
	C4060 保 存 修 復 学 実 習	実習	必修	90	3								3					
	C3180 小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1						1							
	C4065 小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1							1						
	C3190 歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1						1							
	C4080 歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1							1						
	C4095 小 児 矯 正 基 礎 実 習	実習	必修	60	2								2					
	C3200 口 腔 外 科 学	講義	必修	30	1						1							
	C4100 口 腔 外 科 学	講義	必修	60	2							2						
	C4110 歯 科 麻 酔 学	講義	必修	60	2							2						
	C4120 歯 科 放 射 線 学	講義	必修	60	2								2					
	C3205 歯 科 内 治 療 学	講義	必修	30	1						1							
	C4130 歯 科 内 治 療 学	講義	必修	30	1							1						
C4140 歯 科 内 治 療 学 実 習	実習	必修	60	2								2						
C3210 歯 科 周 病 学	講義	必修	30	1						1								
C4150 歯 科 周 病 学	講義	必修	30	1							1							
C4160 歯 科 周 病 学 実 習	実習	必修	60	2								2						
C3220 内 科 学	講義	必修	60	2					1	1								
C4105 口 腔 インプラント学	講義	必修	30	1								1						
C3254 法 医 歯 科 学	講義	必修	30	1					1									
C4180 障 が い 者 歯 科 学	講義	必修	30	1								1						
C4185 高 齢 者 歯 科 学	講義	必修	30	1								1						
C4187 摂 食 嚥 下 療 法 学	講義	必修	30	1								1						
C3251 医 療 面 接 学	講義	必修	30	1					1									
C3015 隣 接 医 学	講義	必修	30	1							1							
B2210 歯 科 医 学 研 究 A	演習	選択	30	(1)				(1)										
B3260 歯 科 医 学 研 究 B	演習	選択	30	(1)						(1)								
C4192 臨 床 予 備 演 習	演習	必修	60	2								2						
C4190 総 合 講 義 4年 I	講義	必修	60	2								2						
C4200 総 合 講 義 4年 II	講義	必修	60	2								2						
D5001 臨 床 講 義	講義	必修	312	9									9					
E6010 総 合 講 義 6年	講義	必修	1106	37											37			
E6050 総 合 講 義 演 習	演習	必修	225															

2026年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技術を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	科目名	ディプロマ・ポリシー							
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
教 養 教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○					
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○					
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○			○		
	A1030	入門歯科医学実習		○	○		○			
	A1041	人体機能学		○	○			○		
	A1046	環境学・国際文化学		○	○			○	○	
	A1050	体育		○	○					
	A1060	情報リテラシー		○	○		○			
	A1070	口腔科学入門		○	○					
	A1080	解剖学入門		○	○			○		
	A1100	言語表現(英語)Ⅰ		○	○				○	
	A1110	言語表現(英語)Ⅱ		○	○				○	
	A1160	基礎化学		○	○			○		
	A1170	天然物有機化学		○	○			○		
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○					
	A1180	健康管理学		○	○			○		
	A1185	スポーツ生理学		○	○			○		
	A1190	細胞生物学		○	○			○		
	A1195	人体生物学		○	○			○		
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○			○		
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○			○		
	A2010	化学実験		○	○			○		
	A2020	生物実験		○	○			○		
	A2030	分子生物学		○	○			○		
	専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○				
		B1120	解剖学入門実習		○	○				
		B2050	解剖学Ⅱ		○	○				
		B2060	歯の解剖学		○	○				
		B2070	解剖学実習	○	○	○				
		B2080	組織学		○	○				
		B2090	口腔組織学		○	○				
		B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○				
B2100		生理学		○	○					
B2110		口腔生理学		○	○					
B2120		生理学・口腔生理学実習		○	○					
B2130		生化学		○	○					
B2140		口腔生化学Ⅰ		○	○					
B3030		口腔生化学Ⅱ		○	○					
B2150		生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○					
B2160		微生物学		○	○					
B2165		口腔微生物学		○	○					
B3050		微生物学・口腔微生物学実習		○	○					
B2170		薬理学		○	○					
B3060		歯科薬理学		○	○					
B3070		薬理学・歯科薬理学実習		○	○					
B2175		公衆衛生Ⅰ		○	○					
B2176		公衆衛生Ⅱ		○	○					
B3090		公衆衛生Ⅲ		○	○					
C3095		公衆衛生Ⅳ	○	○	○					
B3100		公衆衛生学実習	○	○	○					
B3110		病理学		○	○					
B3130		口腔病理学		○	○					
B3120		病理診断学実習		○	○		○			
B2180		歯科理工学		○	○					
B2190		歯科理工学実習		○	○		○			
C3150		全部床義歯補綴学		○	○					
C4010		歯科補綴学実習Ⅰ		○	○		○			
C4020		部分床義歯補綴学		○	○					
C4030		歯科補綴学実習Ⅱ		○	○		○			
C4040		クラウンブリッジ補綴学		○	○		○			
C3160		歯の形態・構造学実習		○	○		○			
C3170		保存修復学実習		○	○		○			
C4060		保存修復学実習		○	○		○			
C3180		小児歯科学		○	○					
C4065		小児歯科学		○	○					
C3190		歯科矯正学		○	○					
C4080		歯科矯正学		○	○					
C4095		小児・矯正基礎実習		○	○		○			
C3200		口腔外科学		○	○					
C4100		口腔外科学		○	○					
C4110		歯科麻酔学		○	○					
C4120		歯科放射線学		○	○					
C3205		歯内治療学		○	○					
C4130		歯内治療学		○	○					
C4140	歯内治療学実習		○	○		○				
C3210	歯周病学		○	○						
C4150	歯周病学		○	○						
C4160	歯周病学実習		○	○		○				
C3220	内科学		○	○			○			
C4105	口腔インプラント学		○	○			○			
C3254	法歯科学		○	○						
C4180	障がい者歯科学	○	○	○		○				
C4185	高齢者歯科学		○	○						
C4187	摂食嚥下療法		○	○						
C3251	医療面接学		○	○						
C3015	隣接医学		○	○		○				
B2210	歯科医学研究 A		○	○			○			
B3260	歯科医学研究 B		○	○			○			
C4192	臨床予備演習	○	○	○		○				
C4190	総合講義4年Ⅰ	○	○	○		○				
C4200	総合講義4年Ⅱ		○	○						
D5001	臨床講義	○	○	○						
E6010	総合講義6年	○	○	○						
E6050	総合講義演習	○	○	○			○			
D5500	臨床実習	○	○	○		○	○			
	合 計		8	90	90	14	23	3		



2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数		学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
				時間	単位				
専門	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、吉田裕哉、鷹野良介	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可撤性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、吉田裕哉、平井博一郎 谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	可撤性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、吉田裕哉、霜野良介	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、吉田裕哉、平井博一郎 谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習を行う。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、吉田裕哉	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯の形態・構造学実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、森 啓、小町谷美帆、小松佐保 中村圭吾、宮國 茜、奥瀬稔之	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、中山 聡	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、川原良美、正村正仁、中村浩志 中山 聡、村岡理奈、中根 隆、橋本達也	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	栗原祐史、芳澤享子、佐藤 工	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因、発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷 徹	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口 明、杉野紀幸	歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宣子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髓疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宣子、小町谷美帆、尾崎友輝、小松佐保 石岡康明、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之 甲田調子	触診を指挿し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分菜々衣、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分菜々衣、石岡康明 田井康寛、原 美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	佐藤 晶、川 茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	今井美恵	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	今井美恵	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	今井美恵	摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森 啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林 宏一、鈴木啓之 精神医学：石川絏一 耳鼻咽喉科：有賀あや子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
臨床実習	実習	必修	1544	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、亀山敦史、増田宣子、樋口大輔 黒岩昭弘、栗原祐史、芳澤享子、川原良美、影山 徹 大須賀直人、田口明、内田啓一、今井美恵、澁谷徹	精巧なマネキンを使っているシミュレーション実習、学生相互による診療行為、医師員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。	
	合 計			2984	83				
	省令で定める基準単位数				19				

2026年度 後期 時間割表

学年 曜日時間	第1学年				第2学年				第3学年		第4学年	第5学年	第6学年
	A	B	C	D	A	B	C	D	A.B	C.D			
月	1 9:00~10:30 Weekly Test CI:101	2 10:40~12:10 言語表現(英語)II(3クラス編成) (古原)講:101・102・104	3 13:10~14:40 入門講科医学実習(8班編成) (谷内)CI:101、病院地	4 14:50~16:20 生理学・口腔生理学実習 (北川)学生ホール	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	2 10:40~12:10 解剖学I (田所)実:216	3 13:10~14:40 情報リテラシー (中村実) CI:101	4 14:50~16:20 解剖学実習 (田所)本、解剖実習室	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (吉田、売)実:216	Weekly Test 本:601	臨床実習	総合講義0年 本:602
火	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	2 10:40~12:10 解剖学I (田所)実:216	3 13:10~14:40 情報リテラシー (中村実) CI:101	4 14:50~16:20 解剖学実習 (田所)本、解剖実習室	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (吉田、売)実:216	1 9:00~10:30 口腔科学入門 (山田)実:216	2 10:40~12:10 天然物有機化学 (山下)実:216	3 13:10~14:40 解剖学入門実習 (田所)CI:101	4 14:50~16:20 解剖学実習 (田所)本、解剖実習室	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (吉田、売)実:216	口腔外科科学 (栗原)講:202	臨床実習	総合講義0年 本:602
水	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (吉田、売)実:216	2 10:40~12:10 天然物有機化学 (山下)実:216	3 13:10~14:40 解剖学入門実習 (田所)CI:101	4 14:50~16:20 解剖学実習 (田所)本、解剖実習室	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (吉田、売)実:216	1 9:00~10:30 口腔科学入門 (北川)実:312	2 10:40~12:10 口腔組織学 (平賀)実:312	3 13:10~14:40 公衆衛生学II (山岡)実:312	4 14:50~16:20 公衆衛生学実習 (山岡)実:212・218	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	口腔外科科学 (栗原)講:202	臨床実習	総合講義0年 本:602
木	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	2 10:40~12:10 言語表現(英語)II(3クラス編成) (古原)講:101・102・104	3 13:10~14:40 体育(AEクラス) (米窪、安藤) 体育部・地上競技場	4 14:50~16:20 体育(BEクラス) (米窪、安藤) 体育部・地上競技場	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	1 9:00~10:30 人体生物学 (安藤)実:216	2 10:40~12:10 口腔組織学 (平賀)実:312	3 13:10~14:40 公衆衛生学実習 (山岡)実:212・218	4 14:50~16:20 公衆衛生学実習 (山岡)実:212・218	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	クラウンブリッジ補綴学 (樋口)講:202	臨床実習	総合講義0年 本:602
金	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	2 10:40~12:10 スポーツ生理学 (黒岩)実:216	3 13:10~14:40 体育(OEクラス) (米窪、安藤) 体育部・地上競技場	4 14:50~16:20 言語表現(英語)II補講 (古原)講:102	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	1 9:00~10:30 口腔微生物学 (吉田)実:312	2 10:40~12:10 解剖学II (平賀)実:312	3 13:10~14:40 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	4 14:50~16:20 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	保存修復学 (龜山)講:201	臨床講義 本:601	総合講義0年 本:602
土	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	2 10:40~12:10 スポーツ生理学 (黒岩)実:216	3 13:10~14:40 体育(OEクラス) (米窪、安藤) 体育部・地上競技場	4 14:50~16:20 言語表現(英語)II補講 (古原)講:102	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	1 9:00~10:30 口腔微生物学 (吉田)実:312	2 10:40~12:10 解剖学II (平賀)実:312	3 13:10~14:40 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	4 14:50~16:20 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	保存修復学 (龜山)講:201	臨床講義 本:601	総合講義0年 本:602
日	1 9:00~10:30 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	2 10:40~12:10 スポーツ生理学 (黒岩)実:216	3 13:10~14:40 体育(OEクラス) (米窪、安藤) 体育部・地上競技場	4 14:50~16:20 言語表現(英語)II補講 (古原)講:102	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (安藤)実:216	1 9:00~10:30 口腔微生物学 (吉田)実:312	2 10:40~12:10 解剖学II (平賀)実:312	3 13:10~14:40 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	4 14:50~16:20 生化学・口腔生化学実習 (小林)実:312・317	5 16:30~18:00 日本語演習(留学生) 講:101・102・105 (中村)	保存修復学 (龜山)講:201	臨床講義 本:601	総合講義0年 本:602

第 6 学 年

第 6 学年目次

総	合	講	義		233
	口	腔	解	剖	234
	口	腔	組	織	236
	口	腔	生	理	238
	口	腔	生	化	240
	口	腔	微	生	242
	口	腔	病	理	243
	歯	科	薬	理	245
	歯	科	理	工	247
	公	衆	衛	生	248
	全	部	床	義	251
	部	分	床	義	254
	ク	ラ	ウ	ン	257
	保	存	修	復	260
	歯	内	治	療	267
	歯	周	病	学	269
	小	児	歯	科	271
	歯	科	矯	正	273
	口	腔	外	科	277
	歯	科	麻	酔	280
	歯	科	放	射	283
	障	が	い	者	285
	摂	食	嚥	下	287
	医	療	面	接	288
2026年度 第 6 学年 日程表					289
2026年度 第 6 学年 年間予定					296

総合講義 (E6010)

第6学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標（GIO）】

临床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

1. 当日の総合講義内容につき、自学自習を行う。
2. 総合講義に関連した歯科医師国家試験過去問題について復習する。

【フィードバック方法】

定期試験に解説を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 各期の評価は Weekly Test を30%、定期試験を70%とする。
2. 各期の評価Ⅰ：Ⅱ：Ⅲ：Ⅳ = 1：1：1：1として算出した総合評価を総合講義の評価とする。

【注意事項】

各教科の注意事項を参照

【準備学習時間（予習・復習）】

各教科の準備学習時間（予習・復習）を参照

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照

口腔解剖学

担当者	教授：田所 治
授業概要	国家試験対策として解剖学、口腔・歯の解剖学の復習を行なう。
教科書	藤田信也：「入門人体解剖学（第6版）」（南江堂） 山田英智監訳：「図解 解剖学事典 第3版」（医学書院） 前田健康・天野修監訳：「口腔解剖学（第3版）」（医歯薬出版） 近藤信太郎・中村雅典監訳：「歯の解剖学（第4版）」（わかば出版） 秋田恵一・大川淳：「体表からわかる人体解剖学（第2版）」（南江堂）
参考書	前田健康監訳：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス」（エルセビア） 阿部伸一：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔解剖学（第2版）」（医歯薬出版） 岩永譲：「ビジュアル歯科臨床解剖」（クインテッセンス） 佐藤達夫・坂井建雄：「臨床のための解剖学（第3版）」（メディカルサイエンスインターナショナル） 秋田恵一訳：「グレイ解剖学（第4版）」（エルセビア） 佐藤達夫・秋田恵一訳：「人体解剖カラーアトラス（第8版）」（南江堂） J. W. Rohen・横地 千俣・E. Lütjen-Drecoll：「解剖学カラーアトラス（第9版）」（医学書院）
フィードバック方法	Weekly Test にて理解度をフィードバックする。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：講義の内容をシラバスで確認し、教科書・参考書で予習を行なう。(30分) 復 習：講義内容を復習し、講義資料・教科書・参考書を利用して整理し、必要な内容を覚える。(60分)
オフィスアワー	月曜日から金曜日 随時。事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp 本館 1 階東棟 解剖学教授室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月20日(月) 3時限	頭頸部の体表 頭頸部の骨格系	頭、顔、頸の位置と範囲、境界を説明できる。 頭、顔、頸の形態と構造を説明できる。 脳頭蓋を構成する骨と連結を説明できる。 顔面頭蓋を構成する骨と連結を説明できる。 顎関節の構造を説明できる。 副鼻腔の構造、鼻腔との交通を説明できる。	田所 治
2	4月22日(水) 3時限	頭頸部の筋系	顔面筋を列挙できる。 顔面筋の起始・停止・作用・支配神経を説明できる。 咀嚼筋を列挙できる。 咀嚼筋の起始・停止・作用・支配神経を説明できる。 下顎運動を説明できる。	田所 治
3	6月23日(火) 1時限	頭頸部の血管系	頭頸部の動脈系の走行と分布を説明できる。 頭頸部の静脈系の走行と分布を説明できる。	田所 治
4	6月23日(火) 2時限	頭頸部のリンパ系	頭頸部のリンパ系の走行と分布を説明できる。	田所 治
5	9月17日(木) 3時限	頭頸部の神経系	三叉神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を説明できる。 顔面神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を説明できる。 舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を説明できる。	田所 治
6	10月2日(金) 3時限	口腔 舌 前歯、乳前歯	口腔の区分を説明できる。 口腔の壁を構成する口唇、頬、口蓋、口腔底、舌の特徴を説明できる。 前歯と乳前歯の形態を説明できる。	田所 治

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	10月21日(水) 3時限	唾液腺 小白歯、乳白歯	唾液腺の種類、位置、形、構造、支配神経を説明できる。 小白歯と乳白歯の形態を説明できる。	田所 治
8	11月11日(水) 3時限	咽頭 喉頭 大白歯	咽頭の基本構造、咽頭挙上筋と咽頭収縮筋及び支配神経を説明できる。 喉頭の基本構造、喉頭内筋及び分布する神経を説明できる。 大白歯の形態を説明できる。	田所 治
9	11月27日(金) 1時限	頭頸部、歯の総括	頭頸部の形態と構造、歯の形態を総括して説明できる。	田所 治

口腔組織学

担当者	教 授：平賀 徹
授業概要	組織学および口腔組織学の総復習を行う。
教科書	牛木 辰夫：「入門組織学（改訂第2版）」（南江堂） 脇田 稔ら：「口腔組織学・発生学（第2版）」（医歯薬出版）
参考書	中村 浩彰：歯科国試パーフェクトマスター「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版） 田畑 純：「口腔の発生と組織（改訂5版）」（南山堂）
フィードバック方法	定期試験実施後、疑問や質問等がある場合は問合せること。その後、学生イントラ等で解説する。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(30分) 復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。 (60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 実習館2階 総合歯科医学研究所教授室 事前予約が望ましい。E-mail：toru.hiraga@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月19日(木) 1時限	組織学総論(1) 1. 細胞 2. 上皮組織 3. 支持組織①	・細胞について説明できる。 ・上皮組織について説明できる。 ・支持組織（結合組織、軟骨組織）について説明できる。	平賀 徹
2	3月19日(木) 2時限	組織学総論(2) 支持組織②	・支持組織（骨組織、血液）について説明できる。	平賀 徹
3	5月29日(金) 3時限	組織学総論(3) 1. 筋組織 2. 神経組織 組織学各論	・筋組織について説明できる。 ・神経組織について説明できる。 ・人体の各器官系の組織について説明できる。	平賀 徹
4	7月21日(火) 3時限	口腔組織学(1) 1. エナメル質 2. 象牙質 3. 歯髄 4. セメント質	・エナメル質について説明できる。 ・象牙質について説明できる。 ・歯髄について説明できる。 ・セメント質について説明できる。	平賀 徹
5	8月24日(月) 3時限	口腔組織学(2) 1. 歯周組織 2. 唾液腺 3. 顎関節	・歯周組織について説明できる。 ・唾液腺について説明できる。 ・顎関節について説明できる。	平賀 徹
6	11月16日(月) 3時限	口腔発生学(1) 1. ヒトの発生 2. 口腔顎顔面領域の発生	・ヒトの発生の概要を説明できる。 ・口腔顎顔面領域の発生について説明できる。	平賀 徹
7	11月27日(金) 2時限	口腔発生学(2) 1. 歯の発生 2. 口腔周囲諸器官の発生 3. 骨の発生	・歯の発生について説明できる。 ・口腔周囲諸器官の発生について説明できる。 ・骨の発生について説明できる。	平賀 徹

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	10月5日(月) 2時限	口腔組織学(3) 口腔組織の加齢変化	・口腔組織の加齢変化を説明できる。	平賀 徹

口腔生理学

担当者	教 授：北川純一
授業概要	歯科医師国家試験出題基準にある生理学・口腔生理学関連の項目のうち、重要なもの、理解が難しいものを中心に解説する。
教科書	プリントを配付する。
参考書	吉垣純子・石井久淑編：「ビジュアル生理学・口腔生理学（第4版）」（学建書院） 岩田幸一・井上富雄・船橋 誠・加藤隆史編：「基礎歯科生理学（第7版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test、定期試験における正解率の低い問題をくり返し解説する。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分) 復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。 (45分)
オフィスアワー	随時 18：00～19：00 実習館3階 口腔生理学講座教室

【授業日程】

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	3月31日(火) 1時限	興奮性組織（神経・筋）、末梢神経・中枢神経	静止膜電位と活動電位について説明できる。 神経の興奮伝導について説明できる。 神経線維の分類について説明できる。 シナプスにおける興奮伝達について説明できる。 骨格筋の構造と収縮機序について説明できる。 筋収縮の種類について説明できる。 心筋の特徴について説明できる。 平滑筋の特徴について説明できる。 脳神経と脊髄神経の機能について説明できる。 自律神経の機能について説明できる。 神経伝達物質について説明できる。 中枢神経系各部の主な機能について概説できる。	北川 純一
2	3月31日(火) 2時限	感覚（感覚の一般的性質・痛覚・歯と歯根膜の感覚・口腔粘膜の感覚・味覚・嗅覚）	感覚受容器について説明できる。 痛覚の特徴について説明できる。 歯の感覚について説明できる。 口腔粘膜の感覚について説明できる。 基本味について説明できる。 味細胞と支配神経について説明できる。 嗅覚受容器について説明できる。	北川 純一
3	6月22日(月) 1時限	顎反射、咀嚼、嚥下、吸啜、嘔吐	下顎の随意運動と反射を説明できる。 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。	北川 純一
4	6月22日(月) 2時限	発声と構音	発声に関わる筋の作用について説明できる。 構音機構について説明できる。 母音の特徴について説明できる。 子音の分類について説明できる。	北川 純一
5	9月2日(水) 3時限	唾液	唾液の生成と分泌機構について説明できる。 唾液腺の神経支配について説明できる	北川 純一

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	9月30日(水) 3時限	循環、呼吸、血液	<p>心筋の性質について説明できる。</p> <p>刺激伝導系と心電図について説明できる。</p> <p>血圧受容器について説明できる。</p> <p>血管の収縮調節について説明できる。</p> <p>血液による酸素と二酸化炭素の運搬について説明できる。</p> <p>呼吸ガス受容器について説明できる。</p> <p>血液の酸塩基平衡について説明できる。</p> <p>肺気量について説明できる。</p> <p>呼吸運動について説明できる。</p> <p>赤血球・白血球・血小板および血漿成分の機能について説明できる。</p> <p>血液凝固過程について説明できる。</p> <p>血液型と血球凝集反応について説明できる。</p>	北川 純一
7	10月9日(金) 3時限	内分泌、消化吸収	<p>ホルモンの作用機構について説明できる。</p> <p>ホルモンによる糖代謝・体液量・カルシウム代謝の調節について説明できる。</p> <p>糖質・タンパク質・脂質の消化吸収について説明できる。</p> <p>消化液の働きと分泌調節について説明できる。</p> <p>ホルモンによる消化機能の調節について説明できる。</p>	北川 純一
8	10月29日(木) 3時限	総復習Ⅰ（神経、感覚、口腔機能）	<p>興奮性組織と神経系について復習する。</p> <p>感覚と口腔感覚について復習する。</p> <p>顎反射、嚥下、吸啜、嘔吐、発声について復習する。</p>	北川 純一
9	11月26日(木) 3時限	総復習Ⅱ（唾液、循環、呼吸、血液、内分泌、消化吸収）	<p>唾液について復習する。</p> <p>循環について復習する。</p> <p>呼吸について復習する。</p> <p>血液について復習する。</p> <p>内分泌について復習する。</p>	北川 純一

口腔生化学

担当者	教授：宇田川信之、中村美どり 講師：上原俊介
授業概要	生命現象の分子メカニズムを理解するために、生化学・分子生物学の基礎知識を学ぶ。 1. 生命の単位 2. 細胞の化学成分 3. 生物体の機能とタンパク質 4. 遺伝子とその継承 5. カルシウム代謝ホルモン 6. 齲蝕の生化学
教科書	宇田川信之：「歯科国試パーフェクトマスター口腔生化学（第2版）」（医歯薬出版） 宇田川信之他：「口腔生化学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	
フィードバック方法	試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生インストラ等で解説する。
注意事項	教科書は必ず持参すること。当日のアシストテストおよび資料類はまとめて保存すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること。(10分) 復習：当該講義の weekly Test の復習ノートを必ず作成すること。(80分)
オフィスアワー	いつでも OK。要予約。電話：070-5014-3303または E-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp、 midori.nakamura@mdu.ac.jp 実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月13日(金) 3時限	酵素、ホルモン、収縮性・輸送タンパク質および遺伝子の種類と役割	各種タンパク質および遺伝子についてその役割を理解する。	宇田川信之
2	4月27日(月) 3時限	受容体タンパク質の特徴とシグナル伝達機構 防御タンパク質の種類と役割および免疫機構とそれによって引き起こされる自己免疫疾患	細胞内のシグナル伝達と免疫調節機構について理解する。	宇田川信之
3	6月18日(木) 1時限	結合組織を構成する構造タンパク質の種類と特徴	結合組織を構成するタンパク質の役割を理解する。	中村美どり
4	6月18日(木) 2時限	骨の形成と吸収に関与する細胞とその役割	骨形成と骨吸収機構について理解する。	宇田川信之
5	9月29日(火) 3時限	DNA から RNA そしてアミノ酸が合成されタンパク質が産生される機構	セントラルドグマの実体について理解する。	中村美どり
6	10月14日(水) 3時限	遺伝子操作技術および遺伝子治療の実際	遺伝子操作技術と遺伝子治療の実際を理解する。	中村美どり
7	10月19日(月) 3時限	生命現象を支える臓器と栄養素 糖質・脂質・タンパク質の代謝機構	三大栄養素の代謝について理解する。	上原 俊介
8	11月4日(木) 3時限	骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミンD・カルシトニン）の作用機序 ビタミン欠乏症の原因と症状	硬組織の形成（石灰化）について理解する。 血清カルシウム濃度の調節機構について理解する。	中村美どり

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	11月26日(木) 1時限	齶蝕の生化学 代用糖（非齶蝕性甘味料）の種類とその性質	齶蝕の発症と予防について生化学的に理解する。	中村美どり

口腔微生物学

担当者	非常勤講師：寺尾 豊
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細菌学総論・各論 2. 免疫学（自然免疫・獲得免疫） 3. アレルギー・自己免疫疾患 4. バイオフィーム 5. 口腔細菌学 6. 化学療法 7. 院内感染 8. 滅菌・消毒 9. ウイルス学 10. 真菌学
教科書	寺尾 豊著：「菌科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学（第2版）」（医歯薬出版）川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第5版）」（医歯薬出版）
参考書	全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。
注意事項	本講義は歯科医師国家試験出題基準に基づいた重要事項のみを取り扱うため、講義で取り扱わない基礎的知識については各自学習を要する。講義は予習を前提に進めるため、講義範囲の予習をして講義に臨むこと。講義には教科書、ノート、カラーペン、付箋を持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について2・3年時のノート等で予習を行う。(45分) 復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。(45分)
オフィスアワー	金曜日 16:30～17:30 本館5階東棟 微生物学講座研究室 要予約 (yuji.ueno@mdu.ac.jp)

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月27日(金) 3時限	細菌学総論・医科細菌学①	細菌学の基本について説明できる。 医学上重要な細菌感染症について説明できる。	寺尾 豊
2	4月15日(水) 3時限	細菌学総論・医科細菌学②	細菌学の基本について説明できる。 医学上重要な細菌感染症について説明できる。	寺尾 豊
3	8月26日(水) 3時限	口腔微生物学	口腔微生物および感染症について説明できる。	寺尾 豊
4	9月28日(月) 3時限	ウイルス学総論・各論①	ウイルスおよびウイルス感染の基本事項について説明できる。 DNA ウイルスおよび感染症について説明できる。	寺尾 豊
5	11月9日(月) 3時限	ウイルス学総論・各論②	ウイルスおよびウイルス感染の基本事項について説明できる。 RNA ウイルスおよび感染症について説明できる。	寺尾 豊
6	11月17日(火) 3時限	免疫学①	自然免疫と抗原提示について説明できる。	寺尾 豊
7	11月19日(木) 3時限	免疫学②	液性免疫について説明できる。 細胞性免疫について説明できる。 アレルギー・自己免疫疾患について説明できる。	寺尾 豊
8	11月27日(金) 3時限	感染防御および総括	感染防御について説明できる。	寺尾 豊

口腔病理学

担当者	教授：村上 聡
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症、嚢胞および腫瘍などの総論を復習する。 2. 病理組織診断の基礎的知識を復習する。 3. 口腔領域の代表的な炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患の病理学的特徴を復習する。
教科書	高木 實編：「口腔病理アトラス（第3版）」（文光堂） 下野正基編：「新口腔病理学（第3版）」（医歯薬出版）
参考書	高田 隆編：「歯学生のための病理学」（医歯薬出版）
フィードバック方法	定期試験や Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。 <ol style="list-style-type: none"> ①無断退出など 2. 講義に持参するもの <ol style="list-style-type: none"> ①3年次の授業ノート・資料
準備学習時間 (予習・復習)	予 習：講義内容に該当する項目を3年次の講義ノートを利用して復習する。(60分) 復 習：講義内容の項目について再整理し、疾患の名称・病態・病理組織像を理解する。(90分)
オフィスアワー	随時 本館東棟5階病理学講座医局 メールでの予約が望ましい 村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月2日(木) 3時限	病因、病態（必修・総論） 1. 循環障害	<ol style="list-style-type: none"> 1. 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 2. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 3. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 4. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 5. 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。 6. 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 7. ショックの原因と成因を説明できる 	村上 聡
2	4月14日(火) 3時限	病因、病態（必修・総論・各論） 1. 細胞傷害と修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 2. 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 3. 壊死とアポトーシスについて説明できる。 4. 萎縮萎縮と仮性肥大を説明できる。 5. 修復と再生について説明できる。 6. 化生を説明できる。 7. 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。 8. 創傷治癒に関与できる細胞とその過程を説明できる。 9. 異物の種類と処理反応を説明できる。 10. 器質化を説明できる。 	村上 聡
3	5月14日(木) 3時限	病因、病態（必修・総論） 1. 炎症 2. 感染症	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症の定義と発生機序を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。 4. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。 5. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。 	村上 聡

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
4	6月19日(金) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 腫瘍 2. 口腔の非菌原性腫瘍・腫瘍様病変 3. 病理診断法	1. 腫瘍の定義と原因を説明できる。 2. 腫瘍の組織発生を説明できる。 3. 異型性、退形成および分化を説明できる。 4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 5. 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 6. 発癌機構を概説できる。 7. 前癌病変の組織学的特徴を列挙できる。 8. 口腔癌の組織学的特徴を概説できる。 9. 非菌原性良性腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。 10. 腫瘍類似疾患の組織学的特徴を列挙できる。 11. 生検と剖検を概説できる。	村上 聡
5	6月26日(金) 1時限	病因、病態 1. 菌原性腫瘍	1. 菌原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 2. エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を説明できる。	村上 聡
6	6月26日(金) 2時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 口腔粘膜疾患	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。	村上 聡
7	10月5日(月) 3時限	病因、病態 (必修・総論・各論) 1. 免疫異常 2. 移植免疫 3. 嚢胞	1. 自己免疫疾患を列挙できる。 2. 移植にともなう免疫反応を概説できる。 3. 顎骨に発生する菌原性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 4. 顎骨に発生する非菌原性嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。 5. 軟組織に発生できる嚢胞の組織学的特徴を列挙できる。	村上 聡
8	11月13日(金) 3時限	病因、病態 唾液腺疾患 唾液腺腫瘍	1. 唾液腺腫瘍の組織学的特徴を列挙できる。 2. 唾液腺の非腫瘍性疾患の特徴を説明できる。	村上 聡
9	11月26日(木) 2時限	病因、病態 病理組織像診断 1. 口腔粘膜疾患 2. 嚢胞 3. 腫瘍 4. 菌原性腫瘍 5. 唾液腺腫瘍	1. 口腔疾患の代表的病理組織像から病態の特徴や症状を推論し正確な診断ができる。	村上 聡

歯科薬理学

担当者	教授：荒 敏昭
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序）を理解する。 2. 種々の方法で適用された薬物の生体内運命（薬物動態）を理解する。 3. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。 4. 薬物の副作用・有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。 5. 薬物に関係する法律や規定を理解する。
教科書	講義資料を配布する。
参考書	大谷啓一監修、鈴木邦明・戸茱彰史・青木和広・兼松 隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版） 大浦 清・戸刈彰史監修、笠原正貴・兼松 隆・三枝 禎・十川紀夫・高橋俊介・八田光世編：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第3版）」（永末書店）
フィードバック方法	定期試験実施後、正答率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。
注意事項	薬物と薬物、薬理学と他の科目、基礎と臨床など、薬物に関する「繋がり」を意識しながら勉強すること。
準備学習時間 （予習・復習）	120分 予 習：シラバスを確認し、当該講義範囲の内容について教科書で確認しておくこと。（30分） 復 習：当該講義範囲の内容について、講義資料、教科書、歯科医師国家試験過去問題集などを用いて、関連事項を含め総合的に復習すること。（90分）
オフィスアワー	随時 実習館3階 薬理学講座教授室 toshiaki.ara@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月15日(水) 1時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物相互作用(1) 2. 薬物の作用機序、薬理作用(1) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬力学的薬物相互作用を理解する。 2. 末梢神経作用薬（自律神経作用薬、筋弛緩薬）の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 	荒 敏昭
2	4月15日(水) 2時限	薬物の作用機序、薬理作用(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 局所麻酔薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 2. 中枢神経作用薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 	荒 敏昭
3	4月28日(火) 3時限	薬物の作用機序、薬理作用(3)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗菌薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 2. 抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 	荒 敏昭
4	6月24日(水) 3時限	薬物の作用機序、薬理作用(4)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液作用薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 2. 循環器系作用薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 	荒 敏昭
5	7月22日(水) 3時限	薬物の作用機序、薬理作用(5)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器系作用薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 2. 抗悪性腫瘍薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 3. 免疫系に作用する薬物の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 4. 救急薬剤の作用機序、薬理作用を理解する。 	荒 敏昭
6	9月15日(火) 3時限	薬物動態学(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物動態（吸収から排泄までの過程）を理解する。 2. 薬物の適用方法の特徴を理解する。 3. 初回通過効果と生物学的利用能の関係を理解する。 	荒 敏昭

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	10月20日(火) 3時限	薬物動態学(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物動態のパラメーター（生物学的半減期、分布容積、クリアランス）を理解する。 2. 薬物動態に影響を与える要因を理解する。 3. 治療薬物モニタリング（TDM）を理解する。 	荒 敏昭
8	10月27日(火) 3時限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物相互作用(2) 2. 用量と反応 3. 薬物の連用 4. 副作用・有害作用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物動態学的薬物相互作用を理解する。 2. 用量と反応の関係を理解する。 3. 安全域（治療係数）の算出方法を理解する。 4. 薬物の連用による変化（蓄積、耐性、依存）を理解する。 5. 薬物による副作用、有害作用とその発生機序を理解する。 	荒 敏昭
9	11月10日(火) 3時限	医薬品関連法令 医薬品開発 服薬指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の分類を理解する。 2. 医薬品の表示および保管場所を理解する。 3. 医薬品開発の流れを理解する。 4. 医薬品の服薬指導を理解する。 	荒 敏昭
10	12月2日(水) 1時限	必修該当事項	総論・各論における必修該当事項の内容を理解する。	荒 敏昭

歯科理工学

担当者	准教授：洞澤功子
授業概要	各項目の基礎知識の再確認と専門用語の意味の理解度を再確認する。
教科書	中嶋 裕・西山典宏・宮崎 隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学（第8版）」（学建書院） 宮坂 平・玉置幸道他：「基礎歯科理工学（第1版）」（医歯薬出版）
参考書	2年次のノート
フィードバック方法	各確認テストで行なわれた設問について理解度の低い項目について講義・解説においてフィードバックを行う。
注意事項	教科書は必ず最新版を持参すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスの学習項目を確認し、学生イントラ掲載の設問を教科書および2年次ノートを参考に解答を作る。(60分) 復 習：講義内容についてノート、教科書をもとに復習し、理解できていないところがないか再確認すること。(40分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 実習館1階 歯科理工学医局 日時については事前に E-mail で予約を入れること。 E-mail：noriko.horasawa@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月26日(木) 3時限	生体材料の科学	材料の性質を説明する。	洞澤 功子
2	4月17日(金) 1時限	高分子材料（レジン）	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	洞澤 功子
3	4月17日(金) 2時限	高分子材料（レジン）	高分子材料について、取扱いと性質について理解する。	洞澤 功子
4	6月3日(水) 3時限	接着処理・技術 装着用材料	歯質接着処理・歯科材料接着処理料について理解する。	洞澤 功子
5	6月15日(月) 1時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	洞澤 功子
6	6月15日(月) 2時限	金属・鋳造・接合・熱処理技術	金属とその成形技術について理解する。	洞澤 功子
7	7月14日(火) 3時限	印象・模型材料	印象、模型について理解する。	洞澤 功子
8	9月1日(火) 3時限	陶材	陶材、陶材の染盛・焼成、陶材と金属との接合を理解する。	洞澤 功子
9	10月6日(火) 3時限	インプラント・歯科矯正用材料	インプラント・歯科矯正用材料を理解する。	洞澤 功子
10	10月13日(火) 3時限	診療用器械・研磨・ワックス	診療用器械・研磨・ワックスを理解する。	洞澤 功子
11	10月30日(金) 3時限	総括①	歯科材料を説明する	洞澤 功子
12	12月2日(水) 2時限	総括②	歯科材料を説明する	洞澤 功子

公衆衛生学

担当者	教授：山賀孝之 講師：定岡 直 特任教授：牧 茂
授業概要	近年の我が国における歯科保健の向上には著しいものがあるが、超高齢化社会に際し、より一層の向上が求められる。そこで保健意識を高めるのに必要な手法、科学的根拠をまとめると共に最近の疫学調査の動向についても補足する。 歯科医師として適切な歯科保健・医療・福祉を実践するために、社会と歯科医学との関係についての知識を習得する。
教科書	安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版） 安井利一他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院） 矢ヶ崎雅他著：「社会歯科学 改訂版」（MDU 出版会）
参考書	医療情報科学研究所編：「公衆衛生がみえる2024-2025」（メディックメディア） 「国民衛生の動向2024-2025」、「国民の福祉と介護の動向2024-2025」（厚生労働統計協会）
フィードバック方法	試験実施後の正答、評価への疑問や質問は試験後3日以内に担当教員にその旨申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	2、3、4年次の授業資料に内容を追加記録するか、ノートを作成すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習すること。(30分) 復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 随時 本館1階東棟 公衆衛生学講座医局

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月12日(木) 2時限	健康の概念、健康増進、健康日本21 健康増進と疾病予防 地域保健	健康の概念を説明できる。 疾病予防について説明できる。 地域保健の概要を説明できる。	山賀 孝之
2	4月10日(金) 1時限	疾病の予防 健康の保持増進 健康の定義と概念	疾病予防の概念について説明できる。 生活習慣と健康について説明できる。 健康保持増進対策について説明できる。 国民の保健医療対策について説明できる。	山賀 孝之
3	4月10日(金) 2時限	感染症予防	感染症の分類、感染経路、感染予防について説明できる。	山賀 孝之
4	4月13日(月) 1時限	医の倫理、生命倫理 患者の権利と義務 医学研究と倫理	医の倫理について説明できる。 患者の権利と義務を説明できる。 医学研究と倫理を説明できる。	牧 茂
5	4月13日(月) 2時限	患者医師関係 患者・障害者のもつ心理的社会的問題	患者医師関係を説明できる。 リハビリテーションを説明できる。 国際生活機能分類 (ICF) を説明できる。 ノーマライゼーションを説明できる。	牧 茂
6	4月23日(木) 1時限	医療関係法規 歯科医療機関の管理	医療法について説明できる。 医師法、歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂
7	4月23日(木) 2時限	医療関係法規 歯科医療機関の管理	薬剤師法、保助看法ほか医療関係職種法の法や役割を説明できる。 医薬品医療機器等法について説明できる。	牧 茂

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	4月27日(月) 1時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	医療事故と医療過誤について説明できる。 社会的問題について説明できる。	牧 茂
9	4月27日(月) 2時限	医療事故・医療裁判 社会と歯科医療	医療事故と医療過誤について説明できる。 社会的問題について説明できる。	牧 茂
10	5月19日(火) 3時限	国際保健	国際保健について説明できる。 WHOについて説明できる。SDGsについて説明できる。	牧 茂
11	6月5日(金) 3時限	統計学の基本 スクリーニング検査	調査方法と統計的分析法を説明できる。 疫学研究法を説明できる。 歯科領域のスクリーニング調査について説明できる。	定岡 直
12	6月9日(火) 3時限	精神保健	精神保健について説明できる。 発育段階別の精神保健について説明できる。 精神保健医療福祉制度について説明できる。	牧 茂
13	6月15日(月) 3時限	保健統計	主な保健医療統計を説明できる。	定岡 直
14	6月24日(水) 1時限	母子保健・母子歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理(母子歯科保健)を説明できる。	山賀 孝之
15	6月24日(水) 2時限	学校保健・学校歯科保健	ライフステージにおける予防を説明できる。 集団レベルの予防と健康管理(学校歯科保健)を説明できる。	山賀 孝之
16	7月3日(金) 1時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	山賀 孝之
17	7月3日(金) 2時限	産業保健、産業歯科保健 成人・高齢者保健、成人・高齢者歯科保健	産業保健について説明できる。 成人・高齢者保健を説明できる。	山賀 孝之
18	7月13日(月) 3時限	人口統計	人口動向、人口問題を説明できる。	定岡 直
19	9月7日(月) 1時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	社会保障制度について説明できる。 年金保険、雇用保険など各種保険を説明できる。 社会福祉について説明できる。	牧 茂
20	9月7日(月) 2時限	社会保障制度 保健・医療・福祉の仕組みと関係法規	公的扶助(生活保護)について説明できる。 医療保険について説明できる。 医療経済について説明できる。	牧 茂
21	9月15日(火) 1時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之
22	9月15日(火) 2時限	口腔疾患の疫学	口腔疾患の統計的特徴を説明できる。	山賀 孝之
23	10月8日(木) 1時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 ブラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之
24	10月8日(木) 2時限	生活習慣と口腔の健康 口腔清掃 ブラークコントロール	口腔疾患の予防と健康管理を理解する。 生活習慣に関して適切に指導できる。 口腔と全身との関連を説明できる。 口腔清掃について説明できる。	山賀 孝之

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
25	10月19日(月) 1時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	介護保険制度について説明できる。 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
26	10月19日(月) 2時限	保健・医療・福祉の仕組み 介護保険制度	介護保険制度について説明できる。 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
27	10月26日(月) 3時限	環境保健	環境による健康への影響を説明できる。 環境基準と環境汚染を説明できる。	定岡 直
28	10月28日(水) 3時限	食品保健、食中毒	国民栄養の現状について説明できる。 日本人の食事摂取基準について説明できる。	定岡 直
29	10月29日(木) 1時限	齲蝕の予防・リスク管理・保健指導	齲蝕の予防、リスク管理、保健指導について説明できる。	山賀 孝之
30	10月29日(木) 2時限	口臭の病態・検査・指導	口臭の病態、検査、指導の要点について説明できる。	山賀 孝之
31	12月7日(月) 4時限	まとめ		山賀 孝之

全部床義歯補綴学

担当者	准教授：吉田裕哉
授業概要	3年次の全部床義歯補綴学、4年次の歯科補綴学実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	市川哲雄ほか：「無菌顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版） 細井紀雄ほか：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	TECOM 出版：「歯科国試 ANSWER 2027 vol.10 歯科補綴学 2」 山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店） 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無菌顎補綴学」（学建書院） 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院） 森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版） 佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	・講義、実習内容の質問は、その講義を担当した教員に申し出ること。 ・必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	1. 科目としては全部床義歯補綴学であるが、歯科補綴学総論・部分床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること。 2. 教科書は必ず最新版を確認すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日17:30まで 吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月26日(木) 1時限	分野の重要事項1 歯科補綴学領域の総合講義概要と学習戦略 歯科補綴学領域の傾向と対策	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
2	3月26日(木) 2時限	分野の重要事項2 歯科補綴学領域 第119回歯科医師国家試験問題解説	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
3	3月31日(火) 3時限	全部床義歯補綴学1 全部床義歯の基礎知識 無菌顎の診察・検査・前処置 無菌顎口腔の解剖学的事項	無菌顎の病態を説明できる。 全部床義歯の構成要素について説明できる。 全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。 全部床義歯の製作に際して必要な診察・検査・前処置を説明できる。 無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。	吉田 裕哉
4	4月16日(木) 1時限	全部床義歯補綴学2 無菌顎の印象採得	無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 概形印象採得と精密印象採得を説明できる。 既製トレーと個人トレーの違いを説明できる。 筋圧形成の目的と関わる筋肉を説明できる。 印象材の種類と適応を説明できる。 研究用模型と作業用模型の製作法を説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	4月16日(木) 2時限	全部床義歯補綴学3 無菌顎の顎間関係記録 咬合器装着	咬合床の役割を説明できる。 リップサポートと仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 垂直的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 水平的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 咬合床に記入する標示線を説明できる。 ゴシックアーチ描記法を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
6	6月17日(木) 3時限	歯科補綴学総論1 治療計画立案 治療計画に影響を及ぼす因子	補綴歯科治療における診察・診断について説明できる。 治療計画の立案方法を説明できる。 歯科補綴計画を左右する因子を説明できる。	吉田 裕哉
7	6月25日(木) 3時限	全部床義歯補綴学4 人工歯選択と排列の基本 全部床義歯の咬合 歯肉形成 ろう義歯試適	人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯選択を説明できる。 垂直被蓋と水平被蓋を説明できる。 基本的な前歯部人工歯排列方法を説明できる。 咬合様式の種類を列挙し、有菌顎と無菌顎の咬合様式の違い説明できる。 全部床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 人工歯の形態的な分類を説明できる。 基本的な臼歯部人工歯排列方法を説明できる。 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。	吉田 裕哉
8	7月22日(木) 1時限	全部床義歯補綴学5 埋没・重合 咬合器再装着・咬合調整 研磨	レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。 レジン重合後の作業用模型の咬合器再装着の意義について説明できる。 選択割合および自動割合の手順について説明できる。 義歯床研磨の目的を列挙し、その手順を説明できる。	吉田 裕哉
9	7月22日(木) 2時限	全部床義歯補綴学6 義歯の装着と患者指導	義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	吉田 裕哉
10	9月1日(火) 1時限	全部床義歯補綴学7 特殊な全部床義歯 特殊な印象法 デンチャースペースの記録	解剖学的印象、機能印象、咬合圧印象、咬座印象について説明できる。 ニュートラルゾーン、デンチャースペースについて説明できる。 ニュートラルゾーンテクニック、フレンジテクニック、ピエゾグラフィーについて説明できる。	吉田 裕哉
11	9月1日(火) 2時限	全部床義歯補綴学8 特殊な全部床義歯 特殊な人工歯排列 金属床による全部床義歯	特殊な前歯部および臼歯部人工歯排列方法を説明できる。 金属床による全部床義歯の特徴、製作法について説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	10月1日(木) 3時限	臨床実地対策1 製作過程	有床義歯の製作過程概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
13	10月8日(木) 3時限	臨床実地対策2 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
14	10月9日(金) 1時限	臨床実地対策3 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
15	10月9日(金) 2時限	臨床実地対策4 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
16	10月14日(水) 1時限	臨床実地対策5 全部床義歯の短期的予後	装着後の管理について説明できる。 義歯装着後、短期的に生じる生体と義歯の変化と対応について説明できる。	吉田 裕哉
17	10月14日(水) 2時限	臨床実地対策6 全部床義歯の長期的予後	装着後の管理について説明できる。 義歯装着後、短期的に生じる生体と義歯の変化と対応について説明できる。 粘膜調整・リラインの適応と手技について説明できる。	吉田 裕哉
18	12月8日(火) 1時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
19	12月10日(木) 3時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
20	12月18日(金) 1時限	全部床義歯補綴学講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉

部分床義歯補綴学

担当者	教授：樋口 大輔、亀山 敦史 准教授：吉田 裕哉、笠原 隼男、洞澤 功子
授業概要	4年次の部分床義歯補綴学および歯科補綴学実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院） 志賀 博ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第7版）」（医歯薬出版） 大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	TECOM 出版：「歯科国試 ANSWER 2027 vol.10 歯科補綴学2」 山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店） 森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版） 佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	・講義、実習内容の質問は、その講義を担当した教員に申し出ること。 ・必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	1. 科目としては部分床義歯補綴学であるが、歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること。 2. 教科書は最新版を必ず確認すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日17:30まで 樋口大輔、笠原隼男、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者
1	5月19日(火) 1時限	部分床義歯補綴学1 欠損歯列の病態 部分床義歯の構成要素 支持・把持・維持	歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。 欠損歯列の分類法の必要性和臨床的意義を説くことができる。 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 支持・把持・維持に関与する構成要素を説明できる。 義歯に加わる力を説明できる。 支台歯と顎堤の負担能力について説明できる。	笠原 隼男
2	5月19日(火) 2時限	部分床義歯補綴学2 支台装置 連結子 床	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 連結装置の役割と所要条件を説明できる。 大連結子の種類、特徴を説明できる。 義歯床の役割と要件を説明できる。	笠原 隼男
3	5月27日(水) 3時限	口腔インプラント学1 口腔インプラントの基本 口腔インプラント治療の概要 口腔インプラントに必要な解剖学	欠損補綴における口腔インプラントの位置づけを説明できる。 口腔インプラント治療の流れを説明できる。 口腔インプラントの基本構成要素を説明できる。 口腔インプラント治療に必要な解剖を説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
4	6月1日(月) 1時限	部分床義歯補綴学3 診察・診断 部分床義歯の設計 前処置	医療面接、インフォームドコンセントを説明できる。 診察項目を説明できる。 治療計画の基本的順序と左右する因子、提示方法を説明できる。 サベイングの目的と技法を説明できる。 部分床義歯設計の基本原則と順序を説明できる。 仮設計と本設計を説明できる。 広義の前処置と狭義の前処置を説明できる。	笠原 隼男
5	6月1日(月) 2時限	部分床義歯補綴学4 部分床義歯の印象採得 部分床義歯の顎間関係記録	印象法の種類と特徴を説明できる。 印象材料について説明できる 印象用トレーについて説明できる。 部分床義歯の咬合について説明できる。 咬合採得の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。	笠原 隼男
6	6月23日(火) 3時限	部分床義歯補綴学5 フレームワーク 人工歯排列 義歯装着	フレームワークの製作法を説明できる。 作業用模型の修正法を説明できる。 耐火模型の製作法を説明できる。 フレームワークの試適方法を説明できる。 人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な人工歯排列方法を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	笠原 隼男
7	7月2日(木) 3時限	歯科補綴学総論3 フェイスボウトランスファー チェックバイト 顎路調節	咬合器の使用目的について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 咬合器への模型の装着および咬合器の調節方法について説明できる。	吉田 裕哉
8	7月13日(月) 1時限	部分床義歯補綴学6 オーバーデンチャーとアタッチメント 部分床義歯補綴学7 義歯の目的別分類	支台装置の一般的所要条件を説明できる。 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 オーバーデンチャーの利点、欠点を説明できる。 即時義歯、治療用義歯、暫間義歯について説明できる。	吉田 裕哉
9	7月13日(月) 2時限	部分床義歯補綴学8 顎顔面補綴	顎顔面補綴の定義を説明できる。 顎欠損症例に対する治療の手順を説明できる。 顎義歯・舌接触補助床・スピーチエイドの適応症および製作方法を説明できる。	吉田 裕哉
10	8月31日(月) 3時限	歯科補綴学総論4 睡眠歯科医学 睡眠時ブラキシズム 閉塞性睡眠時無呼吸症	睡眠疾患と補綴歯科診療の関連性を説明できる。 睡眠時ブラキシズムの病因・病態・対応法を説明できる。 閉塞性睡眠時無呼吸症の病因・病態・対応法を説明できる。	吉田 裕哉
11	9月28日(月) 1時限	臨床実地対策1 接着歯科医学の基礎と臨床1	各種材料による接着手技の違いを理解できる。	樋口 大輔 亀山 敦史 洞澤 功子 吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	9月28日(月) 2時限	臨床実地対策2 接着歯科医学の基礎と臨床2	各種材料による接着手技の違いを理解できる。	樋口 大輔 亀山 敦史 洞澤 功子 吉田 裕哉
13	10月21日(水) 1時限	臨床実地対策3 部分床義歯の予後	部分床義歯装着後に生じる整体と義歯の変化とその対応について説明できる。 粘膜調整・リラインの適応と手技について説明できる。	吉田 裕哉
14	10月21日(水) 2時限	臨床実地対策4 義歯破損と修理	義歯破損の原因と修理方法について説明できる。	吉田 裕哉
15	11月4日(水) 1時限	臨床実地対策4 義歯設計と基本事項	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
16	11月4日(水) 2時限	臨床実地対策5 義歯設計と基本事項	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
17	12月8日(火) 2時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
18	12月11日(金) 1時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
19	12月18日(金) 2時限	部分床義歯補綴学講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉

クラウンブリッジ補綴学

担当者	教授：樋口大輔 准教授：吉田裕哉
授業概要	4年次のクラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学および歯科補綴学実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	小川 匠ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第7版）」（医歯薬出版） 三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版） 赤川安正ほか編：「よくわかる口腔インプラント学（第4版）」（医歯薬出版）
参考書	TECOM 出版：「歯科国試 ANSWER 2027 vol.9 歯科補綴学 1」 江草 宏ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第6版）」（永末書店） 菅沼岳史：「クラウンブリッジ補綴学サイドリーダー（第6版）」（学建書院） 古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店） 森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版） 佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	・講義、実習内容の質問は、その講義を担当した教員に申し出ること。 ・必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	1. 科目としてはクラウンブリッジ補綴学であるが、歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学・口腔インプラント学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること。 2. 教科書は最新版を必ず確認すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：実習内容について事前に把握しておくこと。(15分) 復 習：十分に理解できない点については、参考書などを利用して能動的に学習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日17：30まで 樋口大輔、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月21日(火) 3時限	クラウンブリッジ補綴学1 歯冠補綴装置の分類 クラウンブリッジの要件 診察・検査	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について説明できる。	樋口 大輔
2	5月14日(木) 1時限	クラウンブリッジ補綴学2 前処置 支台築造	クラウンブリッジの治療に際し必要な前処置を説明できる。 支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。	樋口 大輔
3	5月14日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学3 支台歯形成 印象採得 顎関関係記録	支台歯形成の意義と方法を説明できる。 クラウンブリッジ製作のための印象材の種類、特徴および印象方法を説明できる。 補綴治療に必要な下顎の基本運動と下顎位について説明できる。 咬合採得の材料、特徴および方法を説明できる。	樋口 大輔
4	5月26日(火) 1時限	クラウンブリッジ補綴学4 プロビジョナルレストレーション クラウンブリッジの技工操作	プロビジョナルレストレーションの臨床的意義と製作法を説明できる。 クラウンブリッジのワックスパターン形成法を説明できる。 埋没、鋳造および研磨について説明できる。	樋口 大輔
5	5月26日(火) 2時限	クラウンブリッジ補綴学5 クラウンブリッジの装着	歯冠補綴装置の試適、調整および装着について説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	6月4日(木) 3時限	クラウンブリッジ補綴学6 クラウンブリッジの術後管理	クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明できる。 クラウンブリッジ装着後に生じるトラブルとその対応法を説明できる。	樋口 大輔
7	6月16日(火) 3時限	クラウンブリッジ補綴学7 ブリッジの設計 ポンティックの要件 ろう着 接着ブリッジ	ブリッジの臨床的意義と構成を説明できる。 ブリッジの種類と特徴を説明できる。 ブリッジの治療と製作に必要な材料の特性と各基本操作を説明できる。	樋口 大輔
8	7月10日(金) 3時限	歯科補綴学総論2 下顎運動と咬合器	顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な下顎位について説明できる。 下顎運動の特徴を説明できる。 ポッセルト図形とその各点について説明できる。	吉田 裕哉
9	8月19日(水) 3時限	口腔インプラント学2 口腔インプラントに必要な材料学 適応の基準と診察・診断 治療計画立案	インプラント治療に必要な材料について説明できる。 インプラント治療の流れの概略を説明できる。 インプラントの構成要素を説明できる。 1回法と2回法インプラントを説明できる。 インプラント治療に必要な診察項目と診断を説明できる。	樋口 大輔
10	8月26日(水) 1時限	クラウンブリッジ補綴学8 レジン前装冠 陶材焼付冠 コンポジットレジンクラウン	レジン前装冠の治療法と製作法を説明できる。 陶材焼付冠の治療法と製作法を説明できる。	樋口 大輔
11	8月26日(水) 2時限	クラウンブリッジ補綴学9 オールセラミッククラウン デジタルデンティストリー	オールセラミッククラウンの治療法と製作法を説明できる。 歯科医療のデジタル化に関して説明できる。デジタル化による補綴歯科診療のワークフローを説明できる。	樋口 大輔
12	9月7日(月) 3時限	口腔インプラント学3 外科処置 硬組織と軟組織のマネージメント	インプラント埋入シミュレーションを説明できる。 インプラント手術に用いる器材を説明できる。 インプラント手術の基礎疾患管理を説明できる。 インプラント埋入手術の基本術式を説明できる。 各種骨移植法と材料を説明できる。 一次手術と二次手術を説明できる。	樋口 大輔
13	9月29日(火) 1時限	口腔インプラント学4 補綴処置1 印象採得 プロビジョナルレストレーション 固定式上部構造 デジタル技術の応用	プロビジョナルレストレーションの臨床的意義と製作方法を説明できる。 印象採得に用いる器材と手技を説明できる。 インプラント体レベルとアバットメントレベルでの印象を説明できる。 光学印象を説明できる。 アバットメントの種類と特徴を説明できる。 欠損歯数に応じた顎間関係記録法を説明できる。 上部構造の種類と特徴を説明できる。 上部構造の固定様式を説明できる。 上部構造の装着過程を説明できる。	樋口 大輔
14	9月29日(火) 2時限	口腔インプラント学5 補綴処置2 可撤性上部構造 メンテナンス 高齢者におけるインプラント治療	インプラント支台のオーバーデンチャーに用いる支台装置を説明できる。 インプラント治療の合併症を説明できる。 メンテナンスに用いる器具や術式を説明できる。 高齢者・有病者へのインプラント治療を説明できる。	樋口 大輔
15	11月12日(木) 3時限	臨床実地対策	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
16	12月8日(火) 3時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
17	12月11日(金) 2時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
18	12月17日(木) 2時限	クラウンブリッジ補綴学講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉

保存修復学

担当者	教授：亀山敦史 非常勤講師：春山亜貴子
授業概要	歯科医師国家試験に合格するために必要な保存修復領域の必修事項、総論、各論項目に関する知識、および臨床実地問題に対応できる臨床推論能力を修得する。
教科書	千田彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版） 山本一世・斎藤隆史・村松敬・島田康史監修：「第七版 保存修復学21」（永末書店） 千田彰・田上順次・寺下正道・片山直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版） 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版詳細版）」（永末書店） (http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可) 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会編：「根面う蝕の診療ガイドライン－非切削でのマネジメント－」 (http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2022.pdf からダウンロード可) 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会・一般社団法人日本歯内療法学会編：「歯髄保護の診療ガイドライン」 (https://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2024.pdf からダウンロード可)
参考書	
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。 ・メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。 ・Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。 ・教科書を必ず持参すること。 ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。 ・講義の撮影・録画は認めない。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予 習：シラバスで講義内容を確認し、関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分) 復 習：講義内容に関連する教科書記載ページに目を通し、関連する国家試験過去問題すべてに目を通す。 (60分)
オフィスアワー	平日（基本的には講義を行った日）17：30以降 本館3階 歯科保存学講座 亀山教授室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月20日(月) 1時限	<p>日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版)」の概要①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲 4. 深在性う蝕における歯髄保護 日本歯科保存学会・日本歯内療法学会編：「歯髄保護の診療ガイドライン」の概要 	<ol style="list-style-type: none"> 1. う蝕治療ガイドラインで明記されているクリニカルクエスチョンに対する学会での推奨項目を説明できる。(想起) 2. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するフッ化物塗布の有効性を説明できる。(想起) 3. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対する高フッ化物徐放性グラスアイオノマーセメント塗布の有効性を説明できる。(想起) 4. 永久歯エナメル質初期齲蝕に対するレジン系材料による封鎖の有効性を説明できる。(想起) 5. 咬合面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 6. 隣接面齲蝕の診断に有効な検査法を列挙できる。(想起) 7. 切削の対象となる齲蝕の進行程度を説明できる。(想起) 8. 除去すべきう蝕象牙質の診断基準を説明できる。(想起) 9. 齲蝕検知液の有効性とその使用法を説明できる。(想起) 10. コンポジットレジン修復時における象牙質・歯髄複合体の保護の必要性について説明できる。(想起) 11. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 12. 歯髄傷害の原因を列挙できる。(想起) 13. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 14. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。(想起) 15. 象牙質・歯髄複合体保護の目的と適応症を説明できる。(想起) 16. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤を列挙できる。(想起) 17. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤の作用機序を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
2	4月12日(月) 2時限	<p>日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版)」の概要②</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 露髄の可能性の高い深在性う蝕への対応 6. 白歯部におけるコンポジットレジン修復の有用性 7. 補修（再研磨、シーラント、補修修復）の有用性 8. 根面う蝕への対応 <p>日本歯科保存学会編：「根面う蝕の診療ガイドライン」の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髄温存療法による露髄回避について、その有効性と適応、手順および使用薬剤を説明できる。(想起) 2. 白歯咬合面（1級窩洞、2級窩洞）における直接法コンポジットレジン修復とメタルインレー修復の臨床成績について説明できる。 3. 白歯コンポジットレジン修復窩洞に必要な窩洞形態について説明できる。(想起) 4. 根管治療後の白歯部修復におけるコンポジットレジンの有効性を説明できる。(想起) 5. 辺縁着色、辺縁不適合および辺縁性二次齲蝕に対する補修（再研磨、シーラント、補修修復）の有用性について説明できる。(想起) 6. 初期根面齲蝕に対するフッ化物を用いた非侵襲的治療の有効性について説明できる。(想起) 7. 根面齲蝕の修復処置における使用材料を選択できる。(問題解決) 8. フッ化ジアンミン銀による根面齲蝕の進行抑制について、その機序と有効性、短所を説明できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
3	5月18日(月) 1時限	歯の硬組織疾患 歯の症候 齲蝕の病因と病態	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の硬組織疾患を分類できる。(想起) 2. 硬組織疾患について、それぞれを説明できる。(想起) 3. 齲蝕の好発年齢と性、好発部位を説明できる。(想起) 4. tooth wear を分類し、説明できる。(想起) 5. 発育異常に伴う歯の硬組織疾患を列挙し説明できる。(想起) 6. 齲蝕の発症機構を説明できる。(想起) 7. 齲蝕の発症要因を列挙し、その関連性を説明できる。(想起) 8. 齲蝕のリスクファクターを列挙できる。(想起) 9. 齲蝕活動性試験の方法を説明し、その結果を診断できる。(解釈) 10. ブラークコントロールを説明できる。(想起) 11. 齲蝕の病態と病巣の構造、および進行を説明できる。(想起) 12. 齲蝕を分類できる。(想起) 13. ICDAS における齲蝕の判定基準を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
4	5月18日(月) 2時限	齲蝕の処置 1. エナメル質齲蝕の処置 2. 象牙質齲蝕の処置 3. 根面齲蝕の処置	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齲蝕病巣の構造を図示し、説明できる。(想起) 2. 初期エナメル質齲蝕に対する再石灰化療法を説明できる。(想起) 3. エナメル質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 4. エナメル質齲蝕に対する処置法を説明できる。(想起) 5. 急性齲蝕と慢性齲蝕の臨床的特徴を説明できる。(想起) 6. 象牙質齲蝕の諸層を分類し、各層の特徴を説明できる。(想起) 7. 象牙質齲蝕の処置法と除去法を説明できる。(想起) 8. 根面齲蝕の特徴を説明できる。(想起) 9. 根面齲蝕の処置法を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
5	5月25日(月) 1時限	窩 洞 ・窩洞の分類 ・窩洞の構成と各部の名称 ・接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞 窩洞に具備すべき諸条件① ・窩洞外形 ・保持形態	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞を分類し、説明できる。(想起) 2. 窩洞の構成および名称を説明できる。(想起) 3. 窩洞に具備すべき諸条件を列挙できる。(想起) 4. 窩洞外形に影響を与える因子を列挙し、説明できる。(想起) 5. 修復物の脱落因子を列挙し、説明できる。(想起) 6. 窩洞に具備すべき各条件 (窩洞外形、保持形態) を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
6	5月25日(月) 2時限	窩洞に具備すべき諸条件② ・抵抗形態 ・便宜形態 ・窩縁形態 ・窩洞の清掃	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞に具備すべき各条件 (抵抗形態、便宜形態、窩縁形態、無菌的な窩洞) を説明できる。(想起) 2. 窩洞に付与した形態により得られる効果を分析できる。(解釈) 	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	6月18日(木) 2時限	象牙質・歯髄複合体の保護法 修復材料の所要条件 ・物理・機械的性質 ・化学的性質 ・生体安全性 ・審美性 ・操作性 ・医療経済性 ・接着性	<ol style="list-style-type: none"> 1. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 2. 歯髄傷害の原因を列挙できる。(想起) 3. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 4. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。(想起) 5. 象牙質・歯髄複合体保護の目的と適応症を説明できる。(想起) 6. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤を列挙できる。(想起) 7. 象牙質・歯髄複合体の保護に用いる使用材料・薬剤の作用機序を説明できる。(想起) 8. 各種修復材料の性質を説明できる。(想起) 9. 各種修復材料の性質を考慮した使い分けを説明できる。(解釈・問題解決) 	亀山 敦史
8	7月14日(火) 1時限	コンポジットレジン修復① ・レジン接着システム ・前歯コンポジットレジン修復 (3級, 4級, 5級, くさび状欠損)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接着性材料を分類できる。(想起) 2. レジン接着システムを分類し、各々を説明できる。(想起) 3. レジン接着システムと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. レジン接着システムと修復材料への接着機構を説明できる。(想起) 5. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンの組成を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジン进行分类できる。(想起) 8. 照射器を分類し、説明できる。(想起) 9. コンポジットレジンの所要性質を考慮した前歯部修復の手順を説明できる。(問題解決) 10. 前歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、それぞれの効果的な使用法を説明できる。(問題解決) 11. コンポジットレジン修復の特徴を踏まえた前歯部への窩洞形成法を説明できる。(問題解決) 	亀山 敦史
9	7月14日(火) 2時限	コンポジットレジン修復② ・白歯コンポジットレジン修復 (1級, 2級) 修復治療の術後管理① ・保全 (メンテナンス) ・患者指導 ・補修修復 ・再研磨	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジンの所要性質を考慮した白歯部修復の手順を説明できる。(問題解決) 2. 白歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、それぞれの効果的な使用法を説明できる。(問題解決) 3. コンポジットレジン修復の特徴を踏まえた白歯部への窩洞形成法を説明できる。(問題解決) 4. C-factor の概念を説明できる。(想起) 5. 修復治療の術後管理を概説できる。(想起) 6. 個々の症例に応じた補修修復の術式と使用器材を説明できる。(問題解決) 	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	9月2日(木) 1時限	メタルインレー修復 修復治療の術後管理② ・メタルインレーの再装着 ・補修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復の特徴を説明できる。(想起) 2. メタルインレー用歯科用金属の種類と組成を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復の適応症と窩洞形態を説明できる。(想起) 4. 個々の症例に応じたメタルインレー修復の術式と使用器材を説明できる。(問題解決) 5. メタルインレー修復の製作手順を説明できる。(想起) 6. メタルインレー修復の製作に用いる材料とその使用法、使用目的を説明できる。(想起) 7. メタルインレー製作時の鑄造欠陥と原因、防止法を説明できる。(問題解決) 7. メタルインレー合着時における誤飲・誤嚥対策を説明できる。(想起) 8. 修復物脱落時の対応を説明できる。(想起) 	亀山 敦史
11	9月2日(木) 2時限	コンポジットレジンインレー修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジンインレー修復の長所・短所を列挙できる。(想起) 2. コンポジットレジンインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 3. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(解釈) 4. 個々の症例に応じたコンポジットレジンインレー修復の術式と使用器材を説明できる。(問題解決) 	亀山 敦史
12	9月3日(金) 3時限	セラミックインレー修復 ベニア修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラミックインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 2. セラミックインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(解釈) 3. 個々の症例に応じたセラミックインレー修復の術式と使用器材を説明できる。(想起) 4. CAD/CAM 装置を用いた修復の長所・短所を説明できる。(想起) 5. CAD/CAM 修復に使用する装置や材料について概説できる。(想起) 6. ベニア修復を分類し、各々についてその特徴を説明できる。(想起) 7. 個々の症例に応じたベニア修復の術式と使用器材を説明できる。(問題解決) 	亀山 敦史
13	10月6日(火) 1時限	間接修復の接着	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間接修復における合着と接着の違いと各々のメカニズムを説明できる。(想起) 2. 合着・接着材料の種類を列挙できる。(想起) 3. 合着・接着材料に必要な性質を説明できる。(想起) 4. 各々の合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。(想起) 5. 間接修復物の合着・接着時における窩洞形成面の表面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 6. 間接修復物の合着・接着時における修復物への処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
14	10月7日(火) 2時限	ガラスアイオノマーセメント修復 アマルガム修復の除去法 象牙質知覚過敏の処置	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。(想起) 2. ガラスアイオノマーセメントの硬化機構を説明できる。(想起) 3. ガラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. ガラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 5. 個々の症例に応じたガラスアイオノマーセメント修復の術式と使用材料を説明できる。(問題解決) 6. ART法を説明できる。(想起) 7. アマルガムに含有される水銀が人体と環境に及ぼす影響を説明できる。(想起) 8. アマルガムの特徴を踏まえた撤去・除去時の注意点を説明できる。(問題解決) 8. 象牙質知覚過敏症のメカニズムを説明できる。(想起) 9. 象牙質知覚過敏症の原因を説明できる。(想起) 10. 象牙質知覚過敏症の処置法を列挙し説明できる。(想起) 11. 象牙質知覚過敏症の処置方針を説明できる。(想起) 12. 個々の症例に応じた象牙質知覚過敏処置の術式と使用薬剤・器材を選択できる。(問題解決) 	亀山 敦史
15	10月28日(水) 1時限	変色歯への対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の変色の病因・病態を説明できる。(想起) 2. 個々の症例に応じた変色歯の処置法と使用器材・器材を説明できる。(問題解決) 3. 歯の漂白のメカニズムを説明できる。(想起) 4. 歯の漂白後の副作用や 	亀山 敦史
16	10月28日(水) 2時限	診療設備・器材 ・歯科診療設備 ・切削器具・器械 ・歯科用レーザー ・診療姿勢・器具の持ち方 ・介助者との連携	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療設備を概説できる。(想起) 2. 各種回転切削器械の特徴とその具体的な保守法を概説できる。(想起) 3. 切削器具および工具を列挙し、各々の用途と使用方法を説明できる。(想起) 4. 歯科用レーザーの種類について説明できる。(想起) 5. レーザーの安全な使用方法について説明できる。(想起) 6. レーザーの適応症について説明できる。(想起) 7. 歯科診療時における術者・患者・介助者の診療姿勢を説明できる。(想起) 8. 各部位における歯の切削時の視野の求め方を説明できる。(問題解決) 9. 各部位における歯の切削時のハンドピース把持法と手指固定法について説明できる。(問題解決) 	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	12月3日(木) 2時限	修復物の技工	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復における技工操作の手順と各手順の目的を説明できる。(想起) 2. 技工操作に用いる材料の種類と所要性質を説明できる。(想起) 3. メタルインレーの鑄造法を説明できる。(想起) 4. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 5. 鑄造欠陥の成因とその対策を列挙し説明できる。(想起) 6. コンポジットレジンインレーの各種製法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。(想起) 7. コンポジットレジンインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 8. セラミックインレーの各種製法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。(想起) 9. セラミックインレーの製作に必要な器材を列挙できる。(想起) 	亀山 敦史
18	12月9日(木) 3時限	演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提示された課題の問題点を抽出できる。(分析) 2. 問題点の原因分析に必要な診断法を列挙できる。(問題解決) 3. 誤りを修正できる。(問題解決) 4. 分析結果をもとに適切な問題解決手法を選択できる。(問題解決) 5. グループ討論で積極的に自分の意見を伝えることができる。(態度) 6. 自分のウィークポイントを発見できる。(解釈) 7. 自分自身のウィークポイントを改善するための具体的方法を提示できる。(問題解決) 	亀山 敦史
19	12月17日(木) 3時限	歯科医師国家試験に向けての総復習		亀山 敦史 春山亜貴子

歯内治療学

担当者	教授：増田宜子
授業概要	3年、4年次の「歯内治療学」「歯内治療学実習」、5年次「臨床実習」「臨床講義」で学んだことを基本に総復習し、様々な歯内疾患の症候、病態、を体系的に理解できるよう学習し、検査法、診断および治療法が選択できる能力を養う。症例写真を多く供覧し、臨床における応用力を身につける。
教科書	勝海 一郎他：「歯内治療学（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	「歯科医師国家試験問題集実践」 「歯科国試 KEY WORDS」 興地 隆史他編：「第6版エンドドンティクス」（永末書店） S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby） 河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー（第2版）」（学建書院）
フィードバック方法	定期試験については解説時間、Weekly Test、Daily Test については当日のオフィスアワーにて個別に解説を行う。
注意事項	実施されるテストの解答を暗記するのではなく、解答に結びつく理屈・機序を理解し、応用力を養うよう心がける。授業に集中してまとめノートを作成すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：講義内容について教科書・試験問題集で復習する。(15分) 復習：講義プリントを参考に講義内容を復習し、疑問点を担当者に質問する。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～20:00 本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月17日(金) 3時限	歯髄疾患	1. 歯髄疾患について説明できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
2	4月24日(金) 1時限	根尖性歯周疾患(1)	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
3	4月24日(金) 2時限	根尖性歯周疾患(2)	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
4	5月22日(金) 1時限	歯内-歯周疾患 歯の外傷	1. 歯内-歯周疾患を病態にしたがって分類・診断し治療法について説明できる。 2. 外傷歯の診断と処置について説明できる。 3. 外傷歯の治療法について説明できる。	増田 宜子
5	5月22日(金) 2時限	1. 内部吸収 2. 外部吸収	1. 歯の病的吸収の原因、種類、診断および治療法について説明できる。	増田 宜子
6	6月2日(火) 3時限	根管処置(1)	1. 髓室開拓について説明できる。 2. 根管形成について説明できる。 3. 根管の化学的清掃について説明できる。 4. 根管の消毒について説明できる。 5. 仮封について説明できる。	増田 宜子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	6月4日(木) 1時限	根管処置(2)	1. 髓室開拓について説明できる。 2. 根管形成について説明できる。 3. 根管の化学的清掃について説明できる。 4. 根管の消毒について説明できる。 5. 仮封について説明できる。	増田 宜子
8	6月4日(木) 2時限	根管充填(1)	1. 根管充填の時期について説明できる。 2. 根管充填材の所要性質について説明できる。 3. 根管充填の術式について説明できる。	増田 宜子
9	8月19日(水) 1時限	根管充填(2)	1. 根管充填の時期について説明できる。 2. 根管充填材の所要性質について説明できる。 3. 根管充填の術式について説明できる。	増田 宜子
10	8月19日(水) 2時限	1. 歯髄保存療法 2. 歯髄除去療法 3. 根未完成歯の治療	1. 歯髄保存療法について説明できる。 2. 歯髄除去療法について説明できる。 3. 根未完成歯に対する治療法について説明できる。	増田 宜子
11	8月25日(火) 3時限	根尖性歯周疾患の治療	根尖性歯周組織疾患に対する治療法を説明できる。	増田 宜子
12	9月8日(火) 3時限	偶発症と安全対策	歯内療法における偶発症とその対応を説明できる。	増田 宜子
13	9月30日(水) 1時限	外科的歯内療法	1. 外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. 外科的歯内療法の種類、適応症、および禁忌症を説明できる。	増田 宜子
14	10月30日(金) 1時限	1. 歯の変色 2. 歯の漂白	歯の変色の原因、適応症、治療法および留意点について説明できる。	増田 宜子
15	10月30日(金) 2時限	1. 高齢者の歯髄疾患と治療 2. 高齢者の根尖性歯周疾患と治療	1. 象牙質・歯髄複合体の老化による変化を説明できる 2. 高齢者に対する歯内療法について説明できる。	増田 宜子
16	11月9日(月) 1時限	歯髄疾患	1. 歯髄疾患について説明できる。 2. 可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎について説明できる。	増田 宜子
17	11月9日(月) 2時限	根尖性歯周疾患	1. 根尖性歯周組織疾患の原因について説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の急性炎と慢性炎について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の分類と臨床症状を説明できる。	増田 宜子
18	12月3日(木) 1時限	まとめ①	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
19	12月10日(木) 1時限	まとめ②	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子
20	12月18日(金) 3時限	まとめ③	これまで学習した内容を体系的に理解し、説明することができる。	増田 宜子

歯周病学

担当者	教授：吉成伸夫 准教授：尾崎友輝、出分葉々衣
授業概要	第96回から第119回までの歯科医師国家試験の問題を分析し、第120回歯科医師国家試験に向けての傾向と対策を行う。
教科書	吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申 基結編：「臨床歯周病学 Clinical Periodontology（第3版）」（医歯薬出版）
参考書	「歯科医師国家試験問題集 実践2027 1、必須」（麻布デンタルアカデミー） 「歯科医師国家試験問題集 実践2027 6、歯周病学」（麻布デンタルアカデミー）
フィードバック方法	疑問がある場合は講義日のQ&Aにて質問すること。
注意事項	
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。(15分) 復習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。(45分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 18:00～19:00 本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月3日(金) 1時限	歯周病の治療計画、治療の流れ	治療計画の意義を理解する。 検査、診断に基づく治療計画の立案、順序を理解する。	吉成 伸夫
2	4月22日(水) 1時限	歯周病の検査（歯周組織検査項目の内容、測定意義）	正常な歯周組織の構造、機能を理解する。 歯周組織の構造、病因をふまえた検査を理解する。 根分岐部病変の検査を理解する。 歯周組織検査項目（現症）の内容を理解する。 歯周病検査の測定意義、相互関係を理解する。 歯周病の病態読影を理解する。	吉成 伸夫
3	4月22日(水) 2時限	歯周病の検査（各種検査器具の使用法、結果判定）	エックス線写真検査の意義、方法を理解する。 細菌、免疫検査の意義、方法を理解する。 咬合検査の意義、方法を理解する。 歯周病の疫学、指数を理解する。	吉成 伸夫
4	5月7日(木) 1時限	歯周病の分類1（試験に出題されやすい病名を中心に）	日本歯周病学会による歯周病分類システム（2006）の内容について理解する。	出分葉々衣
5	5月7日(木) 2時限	歯周病の分類2（新分類について）	AAP、EFPの新分類（2018）の内容について理解する。	出分葉々衣
6	5月20日(水) 3時限	特殊な歯周病、口臭	特殊な歯周病の種類、特徴、治療法を理解する。 口臭の分類と対応を理解する。	尾崎 友輝
7	5月26日(火) 3時限	歯周基本治療（プラークコントロール） 歯周病の薬物療法	病因（細菌）から考えるプラークコントロールの目的、意義を理解する。 ラポールとアドヒアランスを理解する。 プラークコントロールの分類（機械的、化学的）を理解する。 ブラッシング法の種類（毛先を使った方法、わき腹を使った方法）を理解する。 歯周病の病因（細菌）から考える薬物療法の種類と適応を理解する。	尾崎 友輝

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	6月16日(火) 1時限	歯周基本治療 (スケーリング・ルート プレーニング:SRP) 歯周基本治療 (咬合性外傷、咬合調 整、暫間固定)	SRPの目的、意義を理解する。 SRPの治癒形態を理解する。 スケーラーの種類、構造、適応、術式を理解する。 スケーラーのシャープニングを理解する。 病因(外傷)としての咬合性外傷、ブラキシズム、 食片圧入を理解する。 咬合調整の目的、意義、方法、順序を理解する。 暫間固定の目的、意義、種類を理解する。 歯内歯周病変への対応を理解する。 プラークリテンションファクターの除去を理解する。	吉成 伸夫
9	6月16日(火) 2時限	レーザーによる歯周病治療	歯周病治療における歯科用レーザーの用途を理解する。	尾崎 友輝
10	8月18日(火) 1時限	再評価検査	再評価検査の意義、目的を理解する。 歯周病治療後の不快事象とその対応を理解する。	吉成 伸夫
11	8月18日(火) 2時限	歯周外科治療 (歯周外科の基礎)	歯周外科の目的を理解する。	吉成 伸夫
12	9月9日(水) 1時限	歯周外科治療(切除療法、組織付着療法)	切除療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁根尖側移動術(生物学的幅径)を理解する。 組織付着療法の種類とその適応、術式を理解する。 歯肉弁、歯槽骨の種類を理解する。	吉成 伸夫
13	9月9日(水) 2時限	歯周外科治療 (歯周組織再生療法)	骨移植の種類、方法を理解する。 GTR法、エナメルマトリックスプロテイン、FGF-2 製剤を応用した方法の適応、術式を理解する。 ティッシュエンジニアリングを理解する。	吉成 伸夫
14	9月17日(木) 1時限	歯周外科治療 (歯周形成外科)	歯周形成外科の目的と分類を理解する。 歯周形成外科の種類とその適応、術式を理解する。 付着歯肉と根面被覆の違いを理解する。	吉成 伸夫
15	9月17日(木) 2時限	歯周外科治療 (根分岐部病変に対して)	根分岐部病変に対する外科処置の種類とその適応、 術式を理解する。 他の術式との併用法を理解する。	吉成 伸夫
16	11月2日(月) 3時限	歯周外科治療 (総括)	臨床的に重要度、頻度の高い術式について理解する。 類似した術式の違いについて理解する。 歯周組織の治癒形態を理解する。	尾崎 友輝
17	11月17日(火) 1時限	口腔機能回復治療	口腔機能回復治療の目的、種類を理解する。 歯周病患者の補綴処置を理解する。 歯周病患者の矯正治療を理解する。 インプラント治療を理解する。	尾崎 友輝
18	11月17日(火) 2時限	メンテナンス、SPTと予防	メンテナンスとSPTの目的、意義、基準を理解する。 メンテナンスの意義を理解する。 歯周病予防の方法(1次予防~3次予防)を理解する。	尾崎 友輝
19	12月3日(木) 3時限	病因から見直す歯周病治療	歯周病の病因因子(細菌、宿主、環境)の種類とその 対応を理解する。	吉成 伸夫
20	12月10日(木) 2時限	全身疾患と歯周病の関係	歯周病に影響する全身疾患を理解する。 歯周病が影響を与える全身疾患を理解する。 ペリオドンタルメディシンを理解する。 病因(宿主)から見た全身疾患を理解する。	吉成 伸夫
21	12月17日(木) 1時限	高齢者の歯周病治療	高齢者の特徴を理解する。 歯周組織の加齢変化を理解する。 高齢者に対する歯周病治療の留意点を理解する。	吉成 伸夫

小児歯科学

担当者	准教授：正村正仁、中村浩志 講師：中山 聡
授業概要	小児期から成人期に至る口腔機能の健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法および治療法ならびに口腔健康管理について理解、修得する。
教科書	大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
参考書	大須賀直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版） 大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会） 大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版）」（医歯薬出版） 大須賀直人他：「小児歯科学 ベーシックテキスト（第3版）」（永末書店）
フィードバック方法	配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。
注意事項	教科書は必ず持参すること。 板書内容や説明内容を記載すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書等で予習をおこなうこと。(30分) 復習：講義ノート・配付された資料等を復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)
オフィスアワー	月～金曜日 17：30～18：30 本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月27日(金) 1時限	人体の正常構造と機能 人体の発生、成長・発育、加齢	小児の身体の発育、精神の発達を説明できる。	中村 浩志
2	3月27日(金) 2時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(1) 加齢・歯の喪失による変化(1) 病因・病態(1)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について説明できる。 加齢・歯の喪失による変化について説明できる。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について説明できる。	中村 浩志
3	4月8日(水) 3時限	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育(2) 加齢・歯の喪失による変化(2) 病因・病態(2)	口腔、顎、顔面の発生と成長・発育について説明できる。 加齢・歯の喪失による変化について説明できる。 小児歯科領域の疾患の病因・病態について説明できる。	中村 浩志
4	4月24日(金) 3時限	乳歯・幼若永久歯の特徴 小児の齲蝕	乳歯・幼若永久歯の特徴について説明できる。 小児齲蝕の特徴について説明できる。	正村 正仁
5	5月8日(金) 1時限	小児の歯周組織と疾患	小児歯周組織と疾患の予防と処置について説明できる。	正村 正仁
6	5月8日(金) 2時限	小児の歯科診療	小児患者の診査・診断・歯科的対応法について説明できる。	正村 正仁
7	5月28日(木) 1時限	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導	小児齲蝕の予防法・進行抑制法・保健指導について説明できる。	正村 正仁
8	5月28日(木) 2時限	小児の歯冠修復	乳歯および幼若永久歯の歯冠修復について説明できる。	中山 聡

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	6月5日(金) 1時限	小児の歯内療法(1)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。	中山 聡
10	6月5日(金) 2時限	小児の歯内療法(2)	乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。	中山 聡
11	6月9日(火) 1時限	外科的処置	小児歯科領域の外科的処置について説明できる。	中村 浩志
12	6月9日(火) 2時限	歯の外傷	小児の歯の外傷と処置について説明できる。	中村 浩志
13	9月3日(木) 1時限	児童虐待 小児の顎口腔疾患(1)	児童虐待について説明できる。 小児歯科領域の顎口腔疾患について説明できる。	中山 聡
14	9月3日(木) 2時限	小児の顎口腔疾患(2)	小児歯科領域の顎口腔疾患について説明できる。	中山 聡
15	10月1日(木) 1時限	咬合誘導	咬合誘導咬合誘導概論、保険と保険装置、咬合誘導法について説明できる。	正村 正仁
16	10月1日(木) 2時限	治療時に留意すべき小児疾患(1)	小児歯科治療時に留意すべき疾患について説明できる。	中山 聡
17	10月26日(月) 1時限	治療時に留意すべき小児疾患(2)	小児歯科治療時に留意すべき疾患について説明できる。	中山 聡
18	10月26日(月) 2時限	まとめ(1) 成長発育	成長発育関連の内容について説明できる。	正村 正仁
19	11月2日(月) 1時限	まとめ(2) 成長発育	成長発育関連の内容について説明できる。	正村 正仁
20	11月2日(月) 2時限	まとめ(3) 齶蝕と歯内療法および歯周疾患	齶蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について説明できる。	正村 正仁
21	12月4日(金) 2時限	まとめ(4) 齶蝕と歯内療法および歯周疾患	齶蝕と歯内療法および歯周疾患の内容について説明できる。	正村 正仁
22	12月14日(月) 1時限	まとめ(5) 外科的処置・口腔粘膜疾患	外科的処置・口腔粘膜疾患関連の内容について説明できる。	正村 正仁

歯科矯正学

担当者	教授：川原良美
授業概要	歯科医師として適切な臨床判断を行うために、歯科矯正学の基礎から臨床応用までを体系的に学修し、臨床に必要な知識を修得する。また、歯科医師国家試験に対応できる知識を整理・定着させるために反復演習を通じて学修する。
教科書	後藤滋巳 他、編：「歯科矯正学 第7版」(医歯薬出版)
参考書	西井康、他 編：「歯科矯正学エッセンシャルテキスト」第1版(末永書店)
フィードバック方法	講義内容、演習問題等の質問を適時受け付ける。補講等を行うことがある。
注意事項	教科書を必ず持参すること。
準備学習時間	60分 予習：各回の授業内容について事前に教科書で予習を行うこと(15分) 復習：講義内容について講義資料・教科書を用いて復習すること(45分)
オフィスアワー	月～金曜日 原則として17:30以降 本館2階東棟 歯科矯正学講座医局 (E-mail: yoshimi.kawahara@mdu.ac.jp)

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標(SBOs)	担当者
1	3月19日(木) 3時限	<ul style="list-style-type: none"> 卒業試験演習 第119回歯科医師国家試験問題 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科矯正学に関する卒業試験および歯科医師国家試験の出題傾向を確認できる。 基礎知識と臨床判断との関連を意識して問題を解くことができる。 	
2	4月2日(木) 1時限	<ul style="list-style-type: none"> 成長発育 	<ul style="list-style-type: none"> 歯および顎顔面の成長発育の基本的特徴を説明できる。 年齢や発育段階に応じた歯列および咬合の変化を説明できる。 思春期性成長スパートの概念を理解し、矯正歯科治療との関連を説明できる。 	
3	4月2日(木) 2時限	<ul style="list-style-type: none"> 咬合(正常咬合・不正咬合) 	<ul style="list-style-type: none"> 正常咬合の定義および特徴を説明できる。 不正咬合の基本的概念と分類を説明できる。 Angleの不正咬合分類と骨格分類について説明できる。 不正咬合の特徴を説明できる。 	
4	4月16日(木) 3時限	<ul style="list-style-type: none"> 不正咬合の原因 	<ul style="list-style-type: none"> 不正咬合を遺伝的要因と環境的要因に分類して説明できる。 不正咬合を先天的要因と後天的要因に分類して説明できる。 特徴的な不正咬合を伴う先天性異常疾患について説明できる。 口腔習癖(指しゃぶり、舌突出癖、口呼吸など)が不正咬合に及ぼす影響を説明できる。 鼻咽腔疾患が不正咬合の原因となることを説明できる。 不正咬合の原因を把握することが、診断および治療方針の判断に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	4月23日(木) 3時限	・診断、検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科矯正学における診断の目的について説明できる。 ・ 矯正歯科治療のながれについて説明できる。 ・ 診断に必要な主な検査項目（問診、口腔内外診査、口腔模型、画像検査など）を説明できる。 ・ 口腔内写真および顔貌写真から得られる診断情報を説明できる。 ・ 模型計測法について説明できる。 	
6	5月20日(水) 1時限	・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ トゥースサイズレイシオの計算と臨床的意義について説明できる。 	
7	5月20日(水) 2時限	・セファロ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ セファロ分析の方法、評価、解釈について説明できる。 	
8	6月19日(金) 1時限	・セファロ分析、機能的検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ セファログラムなどの画像検査が診断に果たす役割を説明できる。 ・ 各種検査結果を総合的に評価することが、適切な診断および治療方針の判断に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 ・ 機能検査の方法と分析について説明できる。 	
9	6月19日(金) 2時限	・矯正歯科治療における抜歯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正歯科治療における抜歯の目的および意義を説明できる。 ・ Tweedの抜歯基準について説明できる。 ・ トータルディスクレパンシーの算出方法を説明できる。 ・ 連続抜去法について説明できる。 ・ 抜歯が咬合および顔貌に及ぼす影響を説明できる。 ・ 抜歯の適応を適切に判断することが、治療方針決定に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
10	7月15日(水) 1時限	・矯正力、矯正歯科治療に伴う生体反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正力の分類を説明できる。 ・ 矯正力が歯および歯周組織に及ぼす生体反応の基本的機序を説明できる。 ・ 歯の移動に伴う歯槽骨および歯根膜の変化を説明できる。 ・ 矯正力と対応する装置の種類や材料について説明できる。 ・ 最適な矯正力について説明できる。 ・ 矯正歯科治療に伴う代表的な生体反応（疼痛、歯根吸収など）を説明できる。 ・ 安全で適切な矯正歯科治療を行うために矯正力と生体反応の理解が必要であることを説明できる。 	
11	7月15日(水) 2時限	・固定、矯正用材料、器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正歯科治療における固定の目的および意義を説明できる。 ・ 固定装置の基本的な種類と特徴を説明できる。 ・ 矯正用材料（ワイヤー、ブラケット、接着材料など）の基本的特性を説明できる。 ・ 矯正用材料の特性が矯正力および治療経過に与える影響を説明できる。 ・ 矯正歯科治療に用いられる代表的な器具の役割を説明できる。 ・ 固定方法および矯正用材料・器具の選択が、治療の安全性および治療結果に影響することを理解し、その意義を説明できる。 	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	8月17日(月) 3時限	・矯正装置	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正装置の基本的な分類（可撤式装置、固定式装置、機能的矯正装置など）を説明できる。 ・各種矯正装置の構造および基本的な作用機序を説明できる。 ・可撤式装置と固定式装置の特徴および適応の違いを説明できる。 ・成長発育段階や不正咬合の種類に応じた矯正装置選択の考え方を説明できる。 ・矯正装置装着中に生じ得る問題点（清掃性、疼痛、脱離など）を説明できる。 ・矯正装置の選択および使用に関する理解が、適切な治療方針の判断に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
13	9月4日(金) 1時限	・矯正装置	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正装置の基本的な分類（可撤式装置、固定式装置、機能的矯正装置など）を説明できる。 ・各種矯正装置の構造および基本的な作用機序を説明できる。 ・可撤式装置と固定式装置の特徴および適応の違いを説明できる。 ・成長発育段階や不正咬合の種類に応じた矯正装置選択の考え方を説明できる。 ・矯正装置装着中に生じ得る問題点（清掃性、疼痛、脱離など）を説明できる。 ・矯正装置の選択および使用に関する理解が、適切な治療方針の判断に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
14	9月4日(金) 2時限	・矯正装置	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正装置使用前後にみられる代表的なセファロ計測項目の変化を説明できる。 ・セファロ変化の評価が、治療効果の判定および今後の治療方針の判断に重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
15	10月2日(金) 1時限	・乳歯列、混合歯列期の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯列期および混合歯列期における歯列および咬合の特徴を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期にみられる代表的な不正咬合の特徴を説明できる。 ・乳歯列期および混合歯列期に矯正歯科治療を行う意義を説明できる。 ・成長発育を考慮した治療介入の適応および開始時期の考え方を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期に用いられる代表的な矯正装置の特徴を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期の治療が、その後の永久歯列および咬合に及ぼす影響を説明できる。 	
16	10月2日(金) 2時限	・乳歯列、混合歯列期の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯列期および混合歯列期における歯列および咬合の特徴を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期にみられる代表的な不正咬合の特徴を説明できる。 ・乳歯列期および混合歯列期に矯正歯科治療を行う意義を説明できる。 ・成長発育を考慮した治療介入の適応および開始時期の考え方を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期に用いられる代表的な矯正装置の特徴を説明できる。 ・乳歯列期・混合歯列期の治療が、その後の永久歯列および咬合に及ぼす影響を説明できる。 	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	10月13日(火) 1時限	・永久歯列期の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・永久歯列期における歯列および咬合の特徴を説明できる。 ・永久歯列期にみられる代表的な不正咬合の特徴を説明できる。 ・永久歯列期に矯正歯科治療を行う意義および目的を説明できる。 ・永久歯列期における治療方針決定の基本的な考え方を説明できる。 ・拔牙・非拔牙の選択が治療結果に及ぼす影響を説明できる。 ・永久歯列期の矯正歯科治療において、治療時期および治療計画の判断が重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
18	10月13日(火) 2時限	・永久歯列期の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・永久歯列期における歯列および咬合の特徴を説明できる。 ・永久歯列期にみられる代表的な不正咬合の特徴を説明できる。 ・永久歯列期に矯正歯科治療を行う意義および目的を説明できる。 ・永久歯列期における治療方針決定の基本的な考え方を説明できる。 ・拔牙・非拔牙の選択が治療結果に及ぼす影響を説明できる。 ・永久歯列期の矯正歯科治療において、治療時期および治療計画の判断が重要であることを理解し、その意義を説明できる。 	
19	11月11日(水) 1時限	・チーム医療の中の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療の基本的概念および歯科医療における意義を説明できる。 ・矯正歯科治療における歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の役割を説明できる。 ・補綴治療、歯周治療、口腔外科治療と矯正歯科治療との関係を説明できる。 ・口唇裂・口蓋裂における矯正歯科治療について説明できる。 	
20	11月11日(水) 2時限	・チーム医療の中の矯正歯科治療	<ul style="list-style-type: none"> ・顎変形症の矯正歯科治療について説明できる。 ・多数歯欠如の矯正歯科治療について説明できる。 	
21	12月7日(月) 2時限	・復習	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の国家試験問題を通じて、適切な臨床判断の根拠を説明できる。 	
22	12月14日(月) 2時限	・復習	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師国家試験における歯科矯正学分野の出題傾向を理解し、対応できる。 ・問題演習を通じて、知識を統合し、適切な判断ができる。 	

口腔外科学

担当者	教授：栗原祐史、芳澤享子、佐藤 工
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科学総論（全身的症候、局所的症候、主要症候） 2. 口腔外科学総論（検査） 3. 口腔外科学総論（治療・手術） 4. 先天異常・発育異常 5. 顎関節疾患 6. 損傷・口腔粘膜疾患 7. 炎症・感染症・アレルギー性疾患 8. 嚢胞・腫瘍および類似疾患 9. 症候性疾患 10. 唾液腺疾患 11. 口腔領域の神経疾患 12. 血液疾患・出血性素因 13. 有病者の歯科、口腔外科治療
教科書	白砂兼光・古郷幹彦：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版） 山根源之他編：「口腔内科学」（永末書店） 実践（麻布デンタルアカデミー）
参考書	道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店） 栗田賢一・覚道健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店） 榎本昭二他監修：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版株式会社）
フィードバック方法	Weekly Test、定期テスト、模試にて正答率の低い問題については講義にて解説を行う。
注意事項	歯科医師として必要とされる口腔外科の知識を確実なものとする。こと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：当日の講義内容をレジュメ、テキストで確認しておくこと。(15分) 復 習：当日の講義内容をレジュメを中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。 (45分)
オフィスアワー	月～金曜日 17：00～18：00 本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室 不在の場合もあるので、できるだけ事前に電話にて予約をしてください。電話0263-51-2283

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月13日(金) 1時限	口腔外科診断学（全身的症候、局所症候、主要症候）と検査	口腔外科疾患の診断に必要な診断手順と症状を理解する。口腔外科治療口腔外科疾患の診断に必要な検査を理解する。	栗原 祐史
2	3月13日(金) 2時限	有病者の歯科・口腔外科治療	有病者や全身状態に配慮が必要な患者に対する知識と対応を習得する。	栗原 祐史
3	3月30日(月) 1時限	治療・手術法	手術の基礎となる消毒と滅菌および基本的な手技を理解する。代表的な手術法について理解する。	栗原 祐史
4	3月30日(月) 2時限	症候性疾患	口腔に症状を現す全身疾患について理解する。	栗原 祐史
5	4月1日(水) 3時限	炎症	炎症の診断、治療法について理解する。	栗原 祐史
6	4月8日(水) 1時限	損傷(2)歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折総論、軟組織損傷	歯の外傷および歯槽骨骨折の診断、治療について理解する。顎骨骨折の診断、治療について理解する。	栗原 祐史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	4月8日(水) 2時限	損傷(1)総論、軟組織損傷	損傷について理解する。軟組織損傷の治療について理解する。	栗原 祐史
8	4月14日(火) 1時限	自己免疫・アレルギー性疾患	自己免疫疾患およびアレルギー性疾患について理解する。	芳澤 享子
9	4月14日(火) 2時限	粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と特徴、診断法について理解する。 それぞれの疾患の臨床所見から鑑別診断ができる。 確定診断のための検査法が選択できる。 それぞれの疾患の治療法が説明できる。	芳澤 享子
10	4月21日(火) 1時限	顎関節疾患(1)総論、各論 1	顎関節疾患について理解する。	栗原 祐史
11	4月21日(火) 2時限	顎関節疾患(2)各論 2	顎関節症について理解する。	栗原 祐史
12	4月28日(火) 1時限	先天異常	遺伝性疾患、症候群について理解する。	栗原 祐史
13	4月28日(火) 2時限	唇顎口蓋裂	唇顎口蓋裂の診断および治療について理解する。	栗原 祐史
14	5月18日(月) 3時限	顎変形症の診断と治療	顎変形症の中で、外科的矯正が必要な症例を診断できる。 外科的矯正の治療の流れを理解できる。 症例に応じて、適切な外科的矯正の治療法を選択できる。	栗原 祐史
15	5月21日(木) 1時限	顎変形症の手術	顎変形症の手術方法と、それぞれの長所、短所を説明できる。	栗原 祐史
16	5月21日(木) 2時限	インプラント治療、骨再生治療	インプラント治療について理解する。 口腔外科領域で行われている骨再生治療の種類について理解する。 それぞれの骨再生法の術式と特徴について理解する。	栗原 祐史
17	6月1日(月) 3時限	嚢胞(1)総論、各論 1：顎嚢胞	顎嚢胞の診断、治療法を理解する。	栗原 祐史
18	6月3日(水) 1時限	嚢胞(2)各論 2：顎嚢胞、軟組織嚢胞	顎骨部に発生する嚢胞性病変の診断、治療法を理解する。 軟組織部に発生する嚢胞の診断、治療法を理解する。	栗原 祐史
19	6月3日(水) 2時限	顎・口腔の腫瘍(1)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患 1	口腔領域の良性腫瘍、特に非菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	栗原 祐史
20	6月17日(水) 1時限	顎・口腔の腫瘍(2)非菌原性腫瘍、腫瘍類似疾患 2	口腔領域の非菌原性良性腫瘍および腫瘍類似疾患の診断、治療について理解する。	栗原 祐史
21	6月17日(水) 2時限	顎・口腔の腫瘍(3)菌原性腫瘍	口腔領域の良性腫瘍、特に菌原性腫瘍の診断、治療法について理解する。	栗原 祐史
22	6月25日(木) 1時限	顎・口腔の腫瘍(4)悪性腫瘍 1	口腔領域の悪性腫瘍の診断、分類について理解する。 非上皮性悪性腫瘍について理解する。	芳澤 享子
23	6月25日(木) 2時限	顎・口腔の腫瘍(5)悪性腫瘍 2	口腔領域の悪性腫瘍の治療法について理解する。	芳澤 享子
24	7月3日(金) 3時限	顎・口腔の腫瘍(6)悪性腫瘍 3	口腔領域の悪性腫瘍切除後の再建法について理解する。	芳澤 享子
25	7月9日(木) 3時限	唾液腺疾患(1)総論、各論 1	唾液腺疾患について理解する。	芳澤 享子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
26	7月15日(水) 3時限	唾液腺疾患(2)各論2	唾液腺腫瘍、唾液腺嚢胞について理解する。	芳澤 享子
27	7月21日(火) 1時限	血液疾患(1)	血液疾患の基礎、貧血、白血病、骨髄異形成症候群、白血球減少症を理解する。	栗原 祐史
28	7月21日(火) 2時限	血液疾患(2)出血性素因	出血性素因(止血機構、出血傾向の検査、血管壁の異常、血小板の異常、凝固因子の異常、線溶系の異常)を理解する。	栗原 祐史
29	8月17日(月) 1時限	口腔領域の神経疾患(1)心因性病態、神経痛と類似疾患	心因性病態、精神神経疾患、三叉神経痛、帯状疱疹痛、舌咽神経痛、非菌原性疼痛、茎状突起過長症を理解する。	栗原 祐史
30	8月17日(月) 2時限	口腔領域の神経疾患(2)顔面神経麻痺、味覚異常、顔面神経痙攣	顔面神経麻痺、三叉神経麻痺、舌咽神経麻痺、舌下神経麻痺、味覚異常、顔面痙攣、三叉神経痙攣を理解する。	栗原 祐史
31	8月31日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(1)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
32	8月31日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(2)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
33	9月8日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(3)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
34	9月8日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(4)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
35	9月16日(水) 1時限	国試口腔外科の総合演習(5)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	佐藤 工
36	9月16日(水) 2時限	国試口腔外科の総合演習(6)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	佐藤 工
37	10月5日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(7)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
38	10月27日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(8)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
39	10月27日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(9)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
40	11月10日(火) 1時限	国試口腔外科の総合演習(10)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
41	11月10日(火) 2時限	国試口腔外科の総合演習(11)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
42	11月16日(月) 1時限	国試口腔外科の総合演習(12)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
43	11月16日(月) 2時限	国試口腔外科の総合演習(13)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
44	12月4日(金) 1時限	国試対策講義(1)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
45	12月14日(月) 3時限	国試対策講義(2)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史
46	12月16日(水) 3時限	国試対策講義(3)	国家試験の出題傾向を理解する。 関連する領域で求められる知識を理解する。	栗原 祐史

歯科麻酔学

担当者	教授：澁谷 徹 助教：西田洋平、上田敬介、友松 薫
授業概要	1. 全身管理 2. 局所麻酔 3. 精神鎮静法 4. 全身麻酔 5. 全身的偶発症 6. 救急処置 7. 疼痛治療
教科書	丹羽 均・入船正浩・小長谷光・澁谷 徹編：「第6版 臨床歯科麻酔学」(永末書店)
参考書	嶋田昌彦・梶山加綱・深山治久・丹羽 均編：「わかる!できる!歯科麻酔実践ガイド」(医歯薬出版) 福島和昭監修・一戸達也他編：「歯科麻酔学 (第8版)」(医歯薬出版) 日本有病者歯科医療学会編：「有病者歯科学 (第3版)」(永末書店)
フィードバック方法	Daily Test、Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。
注意事項	講義内容を正しく理解し、知識を着実に積み重なっていくこと。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：シラバスの講義内容について予習する。(30分) 復習：教科書、講義資料および講義ノートをもとに復習を行う。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:30～17:30 本館5階西棟 歯科麻酔学講座教授室、医局

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月3日(金) 1時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(1) 高血圧、虚血性心疾患 先天性心疾患、心臓弁膜症	心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	西田 洋平
2	4月3日(金) 2時限	歯科治療時に留意すべき全身疾患・状態(2) 気管支喘息 糖尿病、甲状腺機能亢進症、 副腎皮質機能低下症 妊娠	呼吸器疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 内分泌・代謝性疾患患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 妊娠患者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	澁谷 徹
3	5月22日(金) 3時限	バイタルサイン モニター 血液検査 全身状態評価	バイタルサインを列挙し、説明できる。 意識障害を評価できる。 血圧・脈拍数を測定し、評価できる。 モニター機器について説明できる。 血液検査での異常値を判別できる。 全身状態を評価できる。	上田 敬介
4	5月27日(水) 1時限	局所麻酔薬 血管収縮薬	局所麻酔薬の作用機序と作用に影響する因子について説明できる。 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。	友松 薫
5	5月27日(水) 2時限	局所麻酔法 局所的合併症	局所麻酔法について説明できる。 局所麻酔時の局所的合併症について説明できる。	澁谷 徹

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	6月2日(火) 1時限	歯科治療時の全身的偶発症(1) 血管迷走神経反射 過換気症候群 局所麻酔薬中毒 アナフィラキシーショック 血管収縮薬による反応 メトヘモグロビン血症	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	澁谷 徹
7	6月2日(火) 2時限	歯科治療時の全身的偶発症(2) 誤飲・誤嚥 全身疾患の増悪	歯科治療時に生じる全身的偶発症の原因・症状・処置・予防について説明できる。	西田 洋平
8	7月10日(金) 1時限	救急蘇生法 成人・小児・乳児に対する一次救命処置	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	友松 薫
9	7月10日(金) 2時限	精神鎮静法 基本手技 心電図	精神鎮静法について説明できる。 基本手技(注射法、採血法)について説明できる。 心電図の基本を説明できる。 不整脈を診断できる。 心筋虚血による心電図変化を説明できる。	澁谷 徹
10	8月25日(火) 1時限	全身麻酔(1) 全身麻酔法 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、 筋弛緩薬 麻酔前投薬	全身麻酔に使用する薬剤人と器具について説明できる。 麻酔前投薬について説明できる。	澁谷 徹
11	8月25日(火) 2時限	全身麻酔(2) 日帰り全身麻酔 全身麻酔時の合併症	日帰り全身麻酔について説明できる。 全身麻酔時の合併症・偶発症について説明できる。	上田 敬介
12	9月4日(金) 3時限	疼痛治療 三叉神経痛 非歯源性歯痛 顔面神経麻痺 三叉神経麻痺 癌性疼痛	慢性痛について説明できる。 神経麻痺について説明できる。 癌性疼痛の治療法について説明できる。	澁谷 徹
13	10月20日(火) 1時限	全身的偶発症 血管迷走神経反射 過換気症候群 アナフィラキシーショック 異物の誤飲・誤嚥	歯科治療時に起こりうる全身偶発症について説明できる。	上田 敬介
14	10月20日(火) 2時限	全身疾患 循環器系疾患、 呼吸器系疾患、その他の疾患 全身状態評価	歯科治療時に留意すべき全身疾患について説明できる。 全身状態を適切に評価できる。	澁谷 徹
15	11月13日(金) 1時限	救急蘇生法 救急薬品	救急蘇生法について説明できる。 救急薬品について説明できる。	西田 洋平
16	11月13日(金) 2時限	疼痛治療 星状神経節ブロック 局所麻酔薬 血管収縮薬	口腔顎顔面領域の慢性痛に対する治療を説明できる。 星状神経節ブロックについて説明できる。 局所麻酔薬について説明できる。 血管収縮薬について説明できる。	澁谷 徹
17	12月7日(月) 3時限	全身状態評価 歯科治療時に留意すべき全身疾患	全身状態を評価できる。 心臓循環器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。 呼吸器系疾患患者の歯科治療時の全身管理について説明できる。	西田 洋平

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	12月15日(火) 1時限	救急蘇生法 心電図	救急蘇生法について説明できる。 不整脈を診断できる。	澁谷 徹

歯科放射線学

担当者	教授：田口 明 准教授：杉野紀幸
授業概要	歯科放射線学の基礎的事項および重要事項について、特に視覚的素材を中心に理解を深めることのできるように試験と解説を交えて講義する。
教科書	田口 明編：「歯科放射線学第6学年総合講義2025年度版」
参考書	勝又明敏・浅海淳一・田口 明・森本泰宏編集主幹：「解説と例題でわかる歯科放射線テキスト」（永末書店）
フィードバック方法	試験において正解率が低い問題について詳細な説明を行う。
注意事項	テキストの復習を必ず行うこと。 国家試験の出題傾向を理解すること。
準備学習時間 (予習・復習)	120分 予 習：事前にシラバスを確認し、講義内容について理解しておくこと。(60分) 復 習：講義内容をしっかり読みかえし、内容を理解すること。(60分)
オフィスアワー	金曜日 17:30~19:00 本館5階西棟 歯科放射線学講座教授室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月12日(木) 3時限	電離放射線の種類、エックス線の発生とエックス線装置の基本的構造	電離の意味と電離放射線の種類を説明できる。 口内法撮影の種類と適応および利点について説明できる。	田口 明
2	4月1日(水) 1時限	エックス線写真の画質、電離放射線の基本と人体への影響、電離放射線の単位、放射性同位元素	コントラストを説明できる。 電離放射線の単位の基本を説明できる。 電離放射線の人体への影響を分類して説明できる。 放射線同位元素の概念について説明できる。	田口 明
3	4月1日(水) 2時限	パノラマエックス線撮影の原理 造影剤とCTの基本的概念	パノラマエックス線撮影の原理を説明できる。 CTの構造とCT値および撮影の基本的概念を説明できる。	田口 明
4	5月7日(木) 3時限	エックス線画像形成 各種画像診断装置	エックス線画像形成に関与する因子と画像形成の基本について説明できる。 各種画像装置の適応について説明できる。	杉野 紀幸
5	5月21日(木) 3時限	放射線防護 電離放射線の影響	放射線防護の基本原則について説明できる。 電離放射線の人体への影響を説明できる。	田口 明
6	6月22日(月) 3時限	画像情報管理システム 口内法正常解剖	画像情報管理システムについて説明できる。 口内法の正常解剖を説明できる。	田口 明
7	6月26日(金) 3時限	パノラマエックス線写真正常解剖 画像検査法の選択	パノラマエックス線写真の正常解剖を説明できる。 病変に適した画像検査法を選択できる。	田口 明
8	7月2日(木) 1時限	口腔顎顔面領域の診断 特殊画像検査	診断の考え方の基本を身につける。 特殊画像検査法の特徴を説明できる。	田口 明
9	7月2日(木) 2時限	口腔顎顔面領域の放射線治療	口腔顎顔面領域の放射線治療について説明できる。 放射線治療の副作用を述べることができる。	田口 明
10	8月24日(月) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(1)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明
11	8月24日(月) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(2)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	田口 明

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	9月30日(水) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(3)	口腔顎顔面領域の疾患についての画像診断ができる。	杉野 紀幸
13	11月19日(木) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(4)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
14	11月19日(木) 2時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(5)	顎口腔領域の疾患における画像診断ができる。 顎口腔領域の疾患に関連する胸部エックス線所見が理解できる。	田口 明
15	12月7日(月) 1時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(6)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	杉野 紀幸
16	12月11日(金) 3時限	口腔顎顔面領域の疾患における画像診断(7)	口腔顎顔面領域の疾患（隣接疾患）についての画像診断ができる。	杉野 紀幸
17	12月16日(水) 2時限	歯科医療における最新放射線医学	歯科医療の領域で用いられる最新放射線医学について理解できる。	田口 明

障がい者歯科学・高齢者歯科学

担当者	教授：今井美恵
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 院内感染 2. 症候群の特徴 3. 障害特性 4. 全身と局所の加齢変化 5. 高齢者によくみられる疾患
教科書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版） よくわかる高齢者歯科学（医歯薬出版）
参考書	森崎市治郎編：「障害者歯科ガイドブック（第1版）」（医歯薬出版） 渡辺 誠監修：「高齢者歯科学（第1版）」（永末書店）
フィードバック方法	Weekly Test の結果を確認し、次回の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30～19:00 本館1階東棟 地域連携歯科学講座教授室 連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月13日(月) 3時限	障害	障がい者と保護者の心理（Drotarの保護者の心理、Cohnの段階理論、死の受容のプロセス）を説明する。 緩和ケアと全人的苦痛を説明する。 脳性まひ、Down症の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	今井 美恵
2	5月25日(月) 3時限	院内感染	スタンダードプリコーションを説明する。 衛生的な手洗いを説明する。 抗菌薬の適正使用について説明する。 適切な滅菌・消毒を説明する。 適切な医療廃棄物処理について説明する。	今井 美恵
3	5月29日(金) 1時限	症候群(1)	1. 反対咬合を呈する症候群を説明する。 2. 小下顎症の症候群を説明する。 3. 第1・2嚙弓症候群を説明する。 4. 骨形成不全症の症候群を説明する。 5. エナメル質形成不全の症候群を説明する。 6. 歯の脱落を起こす症候群を説明する。	今井 美恵
4	5月29日(金) 2時限	症候群(2)	7. 過成長の症候群を説明する。 8. 常染色体異常の症候群を説明する。 9. 性染色体異常の症候群を説明する。 10. 神経・皮膚症候群を説明する。 11. 色素沈着の症候群を説明する。	今井 美恵

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	7月9日(木) 1時限	身体障害	身体障害者福祉法を説明する。 脳性まひの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 筋ジストロフィーの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 ALSの概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 Parkinson病の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。 脳血管疾患の概要と歯科治療上の配慮点を説明する。	今井 美恵
6	7月9日(木) 2時限	精神障害	精神障害を説明する。 双極性障害、認知症、統合失調症、てんかん、発達障害の概要と歯科治療上の配慮すべき事項を説明する。	今井 美恵
7	8月18日(火) 3時限	口腔に関連した加齢と老化	加齢に伴う口腔内の形態的变化について説明する。 加齢に伴う口腔内の機能的变化について説明する。 加齢に伴う口腔内の変化により発生する障害について説明する。	今井 美恵
8	9月16日(水) 3時限	高齢者によくみられる疾患(1)	循環器疾患、脳・神経疾患の概要と対応を説明する。	今井 美恵
9	11月18日(水) 1時限	高齢者によくみられる疾患(2)	高齢者によくみられる代謝性疾患、腎・肝疾患呼吸器疾患、内分泌疾患の概要と対応を説明する。	今井 美恵
10	11月18日(水) 2時限	障がい者歯科における行動調整	精神発達の評価を説明する。 基本的行動調整を説明できる。 行動療法を説明できる。 笑気吸入鎮静法を説明できる。 全身麻酔下歯科治療を説明できる。	今井 美恵
11	12月4日(金) 3時限	チーム医療・多職種連携	医療連携、チーム医療、訪問診療を説明する。 要介護高齢者と障がい者における口腔ケアの役割を説明する。	今井 美恵
12	12月15日(火) 2時限	高齢者歯科 全身状態の評価・認知症	高齢者の特性と全身の加齢変化を説明する。 高齢者の全身状態の評価を説明する。	今井 美恵

摂食嚥下療法学

担当者	教授：今井美恵 助教：田村瞬至
授業概要	スペシャルニーズのある患者の対応を学ぶ。 1. 摂食・嚥下リハビリテーション
教科書	向井美恵他編：「歯科学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」
参考書	障害者歯科学会編：「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（第2版）」（医歯薬出版）
フィードバック方法	Weekly Test の結果を確認し、次回の講義で補足する。
注意事項	時間を有効に活用すること。 疑問はその場で質問すること。
準備学習時間 (予習・復習)	90分 予習：あらかじめキーワードとその定義を単語帳に記載しておくこと。(30分) 復習：講義内容をまとめること。(60分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17:30～19:00 本館1階東棟 地域連携歯科学講座研究室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	5月8日(金) 3時限	摂食嚥下療法(1)	摂食・嚥下障害の解剖と生理を説明する。	田村 瞬至
2	5月28日(木) 3時限	摂食嚥下療法(2)	摂食・嚥下機能の検査方法を説明する。	田村 瞬至
3	9月9日(水) 3時限	摂食嚥下療法(3)	摂食嚥下障害へのリハビリテーションを説明する。	今井 美恵 田村 瞬至
4	11月12日(木) 1時限	摂食嚥下療法(4)	摂食嚥下障害への対応を説明する。	田村 瞬至
5	11月12日(木) 2時限	摂食嚥下療法(5)	摂食嚥下障害に対する介助方法を説明する。	田村 瞬至
6	12月9日(水) 1時限	摂食嚥下療法(6)	摂食嚥下機能の発達・危機管理を説明する。	田村 瞬至
7	12月15日(火) 3時限	摂食嚥下療法(7)	摂食嚥下における栄養評価や多職種連携を説明する。	田村 瞬至

医療面接学

担当者	特任教授：森 啓
授業概要	医療倫理を説明できる。 一般歯科診療の流れを説明できる。 医療面接法の基本的流れを説明できる。 コミュニケーションの技法を説明できる。 インフォームド・コンセントを説明できる。 チーム医療を説明できる。 診療記録記載方法を説明できる。
教科書	なし
参考書	斎藤清二：「はじめての医療面接」(医学書院) 伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」(シエン社)
フィードバック方法	各テストの理解が不十分な点について資料を配布する。 必要があれば事前に資料配付する。
注意事項	必要な資料は配付する。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予 習：講義内容についてしっかり調べておくこと。(30分) 復 習：資料を調べる際にはノートや教科書・参考書を利用してしっかり内容を理解すること。(30分)
オフィスアワー	月曜日～金曜日 17：30以降～ 本館2階北棟病院共同教員室

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月30日(月) 3時限	プロフェッショナリズム (医の倫理と生命倫理、患者中心の視点) 診療技能と患者ケア	1. 歯科医師に必要な倫理的行動と規範を説明できる。 2. 患者中心の医療とセカンドオピニオンを説明できる。 3. 医療面接に必要なプロセスと技能と臨床推論を説明できる。	森 啓
2	11月18日(水) 3時限	チーム医療の実践 (医療面接) 一般歯科診療の基本 (記録) 医療英語 コミュニケーション能力	1. 歯科診療に必要な態度と基本的技能を説明できる。 2. カルテ入力方法 (POMR) を説明できる。 3. チーム医療の内容 (多職種連携)、病院連携を説明できる。 4. 歯科診療に必要な英語表現を説明できる。	森 啓
3	12月9日(水) 2時限	医療面接	1. 医療面接の意義を説明できる。 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接に必要なスキルを説明できる。	森 啓
4	12月16日(水) 1時限	総復習	1. 医療面接関連知識を説明できる。	森 啓

2026年度 第6学年 日程表

		月	火	水	木	金	土	日
		3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15
1	1	9:00~10:30			オリエンテーション	口腔外科学-1・2	補講・自習	
	2	10:40~12:10			公衆衛生学-1			
	3	13:10~14:40			歯科放射線学-1	口腔生化学-1		
	4	14:50~16:20			総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
	5	16:30~18:00			Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)		
					Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)		

		3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
2	1	9:00~10:30	演習 I 119回国試問題	演習 I 119回国試問題	演習 I 解説	口腔組織学-1・2	春分の日	補講・自習
	2	10:40~12:10				歯科矯正学-1		
	3	13:10~14:40				総合講義演習(14:50~17:00)		
	4	14:50~16:20				Daily test(17:00~17:15)		
	5	16:30~18:00				Daily test復習(17:15~18:00)		

		3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29
3	1	9:00~10:30	連携講義 MDU 歯科理工学 宇佐美	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	全部床義歯補綴学-1・2	小児歯科学-1・2	Weekly test-1
	2	10:40~12:10				歯科理工学-1	口腔微生物学-1	補講・自習
	3	13:10~14:40				総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	
	4	14:50~16:20				Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	
	5	16:30~18:00				Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	

		3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5		
4	1	9:00~10:30	口腔外科学-3・4	口腔生理学-1・2	歯科放射線学-2・3	歯科矯正学-2・3	歯科麻酔学-1・2	Weekly test-2		
	2	10:40~12:10	医療面接学-1	全部床義歯補綴学-3	口腔外科学-5	口腔病理学-1	歯周病学-1	補講・自習		
	3	13:10~14:40							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	4	14:50~16:20							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	5	16:30~18:00							Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)

		4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
5	1	9:00~10:30	連携講義 MDU 歯科理工学 宇佐美	連携講義 MDU 保存修復学 宇佐美	口腔外科学-6・7	入学式	公衆衛生学-2・3	補講・自習
	2	10:40~12:10			小児歯科学-3		健康診断	
	3	13:10~14:40			総合講義演習(14:50~17:00)		総合講義演習(14:50~17:00)	
	4	14:50~16:20			Daily test(17:00~17:15)		Daily test(17:00~17:15)	
	5	16:30~18:00			Daily test復習(17:15~18:00)		Daily test復習(17:15~18:00)	

		4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19		
6	1	9:00~10:30	公衆衛生学-4・5	口腔外科学-8・9	歯科薬理学-1・2	全部床義歯補綴学-4・5	歯科理工学-2・3	Weekly test-3		
	2	10:40~12:10	障がい者歯科学・高齢者歯科学-1	口腔病理学-2	口腔微生物学-2	歯科矯正学-4	歯内治療学-1	補講・自習		
	3	13:10~14:40							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	4	14:50~16:20							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	5	16:30~18:00							Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)

		4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26		
7	1	9:00~10:30	保存修復学-1・2	口腔外科学-10・11	歯周病学-2・3	公衆衛生学-6・7	歯内治療学-2・3	Weekly test-4		
	2	10:40~12:10	口腔解剖学-1	クラウンブリッジ補綴学-1	口腔解剖学-2	歯科矯正学-5	小児歯科学-4	補講・自習		
	3	13:10~14:40							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	4	14:50~16:20							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	5	16:30~18:00							Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)

		月	火	水	木	金	土	日	
		4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	
8	1	9:00~ 10:30	公衆衛生学-8・9	口腔外科学-12・13	昭和の日 松濤祭	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 MDU 保存修復学 宇佐美	憲法記念日
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)						
		Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)						
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)						

		5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
9	1	9:00~ 10:30	みどりの日	こどもの日	振替休日	歯周病学-4・5	小児歯科学-5・6	Weekly test-5
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)					
		Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)					
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)					

		5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17
10	1	9:00~ 10:30	授業なし	I 期試験	I 期試験解説	クラウンブリッジ補綴学-2・3	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)					
		Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)					
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)					

		5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24
11	1	9:00~ 10:30	保存修復学-3・4	部分床義歯補綴-1・2	歯科矯正学-6・7	口腔外科学-15・16	歯内治療学-4・5	Weekly test-6
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
		Daily test(17:00~17:15)						
		Daily test復習(17:15~18:00)						

		5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31
12	1	9:00~ 10:30	保存修復学-5・6	クラウンブリッジ補綴学-4・5	歯科麻酔学-4・5	小児歯科学-7・8	障がい者歯科学・高齢者歯科学-3・4	Weekly test-7
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
		Daily test(17:00~17:15)						
		Daily test復習(17:15~18:00)						

		6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7
13	1	9:00~ 10:30	部分床義歯補綴学-4・5	歯科麻酔学-6・7	口腔外科学-18・19	歯内治療学-7・8	小児歯科学-9・10	Weekly test-8
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
		Daily test(17:00~17:15)						
		Daily test復習(17:15~18:00)						

		6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14
14	1	9:00~ 10:30	マッチング、医局、 大学院説明会	小児歯科学-11・12	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	I 期試験追再試
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)					
		Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)					
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)					

		月	火	水	木	金	土	日	
		6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	
15	1	9:00~ 10:30	歯理工学-5・6	歯周病学-8・9	口腔外科学-20・21	口腔生化学-3・4	歯科矯正学-8・9	Weekly test-9	
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40	公衆衛生学-13	クラウンブリッジ補綴学-7	全部床義歯補綴学-6	保存修復学-7	口腔病理学-4	補講・自習	
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
	5	16:30~ 18:00	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)		
		Daily test復習(17:15~18:00)							

		6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	
16	1	9:00~ 10:30	口腔生理学-3・4	口腔解剖学-3・4	公衆衛生学-14・15	口腔外科学-22・23	口腔病理学-5・6	Weekly test-10	
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40	歯科放射線学-6	部分床義歯補綴学-6	歯科薬理学-4	全部床義歯補綴学-7	歯科放射線学-7	補講・自習	
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
	5	16:30~ 18:00	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)		
		Daily test復習(17:15~18:00)							

		6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
17	1	9:00~ 10:30	授業なし	Ⅱ期試験	Ⅱ期試験解説	歯科放射線学-8・9	公衆衛生学-16・17	補講・自習
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
					部分床義歯補綴学-7	口腔外科学-24		
					総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
					Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)		
					Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)		

		7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12		
18	1	9:00~ 10:30			障がい歯科学・高齢者歯科学-5・6	歯科麻酔学-8・9	Weekly test-11			
	2	10:40~ 12:10	連携講義 DES 予防・社会歯科学 岸	連携講義 DES 予防・社会歯科学 岸					連携講義 DES 予防・社会歯科学 岸	
	3	13:10~ 14:40							口腔外科学-25	クラウンブリッジ補綴学-8
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
					Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)				

		7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	
19	1	9:00~ 10:30	部分床義歯補綴学-8・9	保存修復学-8・9	歯科矯正学-10・11		Ⅱ期試験追再試		
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40	公衆衛生学-18	歯理工学-7	口腔外科学-26	連携講義 MDU 歯内療法学 宇佐美			連携講義 MDU 歯内療法学 宇佐美
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)				
	5	16:30~ 18:00	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)				
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)					

		7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	
20	1	9:00~ 10:30	海の日	口腔外科学-27・28	全部床義歯補綴学-8・9		Weekly test-12		
	2	10:40~ 12:10							
	3	13:10~ 14:40		口腔組織学-5	歯科薬理学-5	連携講義 MDU 歯周病学 宇佐美			連携講義 MDU 歯周病学 宇佐美
	4	14:50~ 16:20		総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)				
	5	16:30~ 18:00		Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)				
				Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)				

		7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	
21	1	9:00~ 10:30							
	2	10:40~ 12:10	連携講義 メルリックス 高齢者歯科学 三井	連携講義 メルリックス 摂食嚥下療法学 三井	連携講義 メルリックス 小児歯科学 三井	連携講義 MDU クラウンブリッジ補綴学 宇佐美			連携講義 MDU クラウンブリッジ補綴学 宇佐美
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		月	火	水	木	金	土	日	
		8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	
22	1	9:00~ 10:30							
	2	10:40~ 12:10	連携講義 メルリックス 歯科矯正学 三井	連携講義 メルリックス 衛生学 三井	連携講義 メルリックス 衛生学 三井	連携講義 MDU 口腔インプラント学 宇佐美			連携講義 MDU 演習・模試解説 宇佐美
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16
23	1	9:00~ 10:30	山の日					
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23				
24	1	9:00~ 10:30	口腔外科学-29・30	歯周病学-10・11	歯内治療学-9・10	演習Ⅱ 全国模擬試験	演習Ⅱ 全国模擬試験	Weekly test-13				
	2	10:40~ 12:10										
	3	13:10~ 14:40							障がい者歯科学・高齢者歯科学-7	クラウンブリッジ補綴学-9		
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	補講・自習
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	

		8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30				
25	1	9:00~ 10:30	歯科放射線学-10・11	歯科麻酔学-10・11	クラウンブリッジ補綴学-10・11	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	Weekly test-14				
	2	10:40~ 12:10										
	3	13:10~ 14:40							口腔組織学-4	歯内治療学-11	口腔微生物学-3	
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	補講・自習
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	

		8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6						
26	1	9:00~ 10:30	全部床義歯補綴学-10・11	保存修復学-10・11	小児歯科学-13・14	歯科矯正学-13・14	Weekly test-15							
	2	10:40~ 12:10												
	3	13:10~ 14:40							部分床義歯補綴学-10	歯科理工学-8	口腔生理学-5	保存修復学-12	歯科麻酔学-12	
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	補講・自習
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)					

		9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13				
27	1	9:00~ 10:30	口腔外科学-33・34	歯周病学-12・13	演習Ⅲ 全国模擬試験	演習Ⅲ 全国模擬試験	Weekly test-16					
	2	10:40~ 12:10										
	3	13:10~ 14:40							クラウンブリッジ補綴学-12	歯内治療学-12	摂食嚥下療法学-3	
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	補講・自習
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	

		9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20				
28	1	9:00~ 10:30	公衆衛生学-21・22	口腔外科学-35・36	歯周病学-14・15	連携講義 DES 全部床義歯補綴学 織田	Weekly test-17					
	2	10:40~ 12:10										
	3	13:10~ 14:40							連携講義 DES 歯内療法 吉川	障がい者歯科学・高齢者歯科学-8	口腔解剖学-5	
	4	14:50~ 16:20							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	補講・自習
	5	16:30~ 18:00							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	

		月	火	水	木	金	土	日
		9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
29	1	敬老の日	国民の休日	秋分の日	Ⅲ期試験	Ⅲ期試験解説	連携講義 MDU 演習・模試解説 宇佐美	
	2							
	3							
	4							
	5							

		9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4						
30	1	部分床義歯補綴学-11・12	クラウンブリッジ補綴学-13・14	歯内治療学-13	小児歯科学-15・16	歯科矯正学-15・16	Weekly test-18							
	2			歯科放射線学-12										
	3			口腔微生物学-4					口腔生化学-5	口腔生理学-6	全部床義歯補綴学-12	口腔解剖学-6		
	4			総合講義演習(14:50~17:00)					総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)			総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5			Daily test(17:00~17:15)					Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)			Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	Daily test復習(17:15~18:00)													

		10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11				
31	1	口腔外科学-37	保存修復学-13・14	特別講義 (内科学)	公衆衛生学-23・24	全部床義歯補綴学-14・15	Weekly test-19					
	2	口腔組織学-6										
	3	口腔病理学-7		歯科理工学-9					全部床義歯補綴学-13	口腔生理学-7		
	4	総合講義演習(14:50~17:00)		総合講義演習(14:50~17:00)							総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5	Daily test(17:00~17:15)		Daily test(17:00~17:15)							Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)								

		10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18		
32	1	スポーツの日	歯科矯正学-17・18	全部床義歯補綴学-16・17	演習Ⅳ 全国模擬試験	演習Ⅳ 全国模擬試験	Ⅲ期試験追再試			
	2									
	3								歯科理工学-10	口腔生化学-6
	4								総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5								Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)								

		10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25			
33	1	公衆衛生学-25・26	歯科麻酔学-13・14	部分床義歯補綴学-13・14	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	連携講義 DES 口腔外科学・総合医学 中本	Weekly test-20				
	2										
	3								口腔生化学-7	歯科薬理学-7	口腔解剖学-7
	4								総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5								Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)								

		10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1					
33	1	小児歯科学-17・18	口腔外科学-38・39	保存修復学-15・16	公衆衛生学-29・30	歯内治療学-14・15	Weekly test-21						
	2												
	3								公衆衛生学-27	歯科薬理学-8	公衆衛生学-28	口腔生理学-8	歯科理工学-11
	4								総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5								Daily test(17:00~17:15)				
	Daily test復習(17:15~18:00)												

		11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8		
35	1	小児歯科学-19・20	文化の日	部分床義歯補綴学-15・16	演習Ⅴ 全国模擬試験	演習Ⅴ 全国模擬試験	補講・自習			
	2									
	3								歯周病学-16	口腔生化学-8
	4								総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)
	5								Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)
	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)								

		月	火	水	木	金	土	日	
36	1	9:00~ 10:30	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
	2	10:40~ 12:10	歯内治療学-16・17	口腔外科学-40・41	歯科矯正学-19・20	摂食嚥下療法学-4・5	歯科麻酔学-15・16	Weekly test-22	
	3	13:10~ 14:40	口腔微生物学-5	歯科薬理学-9	口腔解剖学-8	クラウンブリッジ補綴学-15	口腔病理学-8	補講・自習	
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)		
	5	16:30~ 18:00	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)		
		Daily test復習(17:15~18:00)							

		11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	
37	1	9:00~ 10:30	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22
	2	10:40~ 12:10	口腔外科学-42・43	歯周病学-17・18	障がい者歯科学・高齢者歯科学-9・10	歯科放射線学-13・14	補講・自習	Weekly test-23	
	3	13:10~ 14:40	口腔組織学-7	口腔微生物学-6	医療面接学-2	口腔微生物学-7			
	4	14:50~ 16:20	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)	総合講義演習(14:50~17:00)			
	5	16:30~ 18:00	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)	Daily test(17:00~17:15)			
		Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)	Daily test復習(17:15~18:00)				

		11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	
38	1	9:00~ 10:30	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29
	2	10:40~ 12:10	勤労感謝の日	IV期試験	IV期試験解説	口腔生化学①	口腔解剖学①	補講・自習	
	3	13:10~ 14:40				口腔病理学①	口腔組織学①		
	4	14:50~ 16:20				口腔生理学①	口腔微生物学①		
	5	16:30~ 18:00							

		11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	
39	1	9:00~ 10:30	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6
	2	10:40~ 12:10	演習VI 全国模擬試験	演習VI 全国模擬試験	歯科薬理学①	歯内治療学①	口腔外科学①	IV期試験追再試	
	3	13:10~ 14:40			歯科理工学①	保存修復学①	小児歯科学①		
	4	14:50~ 16:20			特別講義(法医学歯科学)	歯周病学①	障がい者・高齢者歯科学①		
	5	16:30~ 18:00			特別講義(法医学歯科学)				

		12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	
40	1	9:00~ 10:30	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13
	2	10:40~ 12:10	歯科放射線学①	全部床義歯補綴学①	摂食嚥下療法学①	歯内治療学②	部分床義歯補綴学②	補講・自習	
	3	13:10~ 14:40	歯科矯正学①	部分床義歯補綴学①	医療面接学①	歯周病学②	クラウンブリッジ補綴学②		
	4	14:50~ 16:20	歯科麻酔学①	クラウンブリッジ補綴学①	保存修復学②	全部床義歯補綴学②	歯科放射線学②		
	5	16:30~ 18:00	公衆衛生学①						

		12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	
41	1	9:00~ 10:30	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
	2	10:40~ 12:10	小児歯科学②	歯科麻酔学②	医療面接学②	歯周病学③	全部床義歯補綴学③	補講・自習	
	3	13:10~ 14:40	歯科矯正学②	障がい者・高齢者歯科学②	歯科放射線学③	クラウンブリッジ補綴学③	部分床義歯補綴学③		
	4	14:50~ 16:20	口腔外科学②	摂食嚥下療法学②	口腔外科学③	保存修復学③	歯内治療学③		
	5	16:30~ 18:00							

		12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	
42	1	9:00~ 10:30	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27
	2	10:40~ 12:10	演習VII 全国模擬試験	演習VII 全国模擬試験	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業
	3	13:10~ 14:40							
	4	14:50~ 16:20							
	5	16:30~ 18:00							

		月	火	水	木	金	土	日
		12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
43	1	冬季休業	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元旦 冬季休業	冬季休業	冬季休業
	2							
	3							
	4							
	5							

		1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
44	1	冬季休業	卒業試験	卒業試験				
	2							
	3							
	4							
	5							

		1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
45	1	成人の日	卒業追再試験	卒業追再試験	ファウンダーズデー			
	2							
	3							
	4							
	5							

		1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
46	1							
	2		連携講義 MDU 直前 宇佐美	連携講義 DES 直前・ターゲット 吉川	連携講義 DES 外科直前 中本	連携講義 メルリックス 直前 三井		
	3							
	4							
	5							

		1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
47	1					創立記念日	歯科医師 国家試験 (予定)	歯科医師 国家試験 (予定)
	2							
	3							
	4							
	5							

		2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
48	1				卒業式			
	2							
	3							
	4							
	5							

2026年度 第6学年 年間予定

2026年

3月		4月		5月		6月		7月		8月					
1	日	1	水	1	金	1	月	1	水	Ⅱ期試験 解説	1	土			
2	月	2	木	2	土	2	火	2	木	Ⅲ期開始	2	日			
3	火	3	金	3	日	憲法記念日	3	水	3	金	3	月			
4	水	4	土	Weekly Test 2	4	月	みどりの日	4	木	4	土	4	火		
5	木	5	日	5	火	こどもの日	5	金	5	日	5	水			
6	金	6	月	6	水	振替休日	6	土	Weekly Test 8	6	月	6	木		
7	土	7	火	7	木	7	日	7	火	7	金	7	土		
8	日	8	水	8	金	8	月	マッチング・医局・大学院説明会	8	水	8	土			
9	月	9	木	入学式	9	土	Weekly Test 5	9	火	9	木	9	日		
10	火	10	金	健康診断	10	日	10	水	10	金	10	月			
11	水	11	土	11	月	授業なし	11	木	11	土	Weekly Test 11	11	火	山の日	
12	木	オリエンテーション Ⅰ期開始	12	日	12	火	Ⅰ期試験	12	金	12	日	12	水		
13	金	13	月	13	水	Ⅰ期試験 解説	13	土	Ⅰ期 追・再試験	13	月	13	木		
14	土	14	火	14	木	Ⅱ期開始	14	日	14	火	14	金			
15	日	15	水	15	金	15	月	15	水	15	土				
16	月	16	木	16	土	16	火	16	木	16	日				
17	火	17	金	17	日	17	水	17	金	17	月				
18	水	18	土	Weekly Test 3	18	月	18	木	18	土	Ⅱ期 追・再試験	18	火		
19	木	19	日	19	火	19	金	19	日	19	水				
20	金	春分の日	20	月	20	水	20	土	Weekly Test 9	20	月	海の日	20	木	演習Ⅱ
21	土	21	火	21	木	21	日	21	火	21	金	21	土	演習Ⅱ	
22	日	22	水	22	金	22	月	22	水	22	土	Weekly Test 13			
23	月	演習Ⅰ	23	木	23	土	Weekly Test 6	23	火	23	木	23	日		
24	火	演習Ⅰ	24	金	24	日	24	水	24	金	24	月			
25	水	演習Ⅰ 解説	25	土	Weekly Test 4	25	月	25	木	25	土	Weekly Test 12	25	火	
26	木	26	日	26	火	26	金	26	日	26	水				
27	金	27	月	27	水	27	土	Weekly Test 10	27	月	27	木			
28	土	Weekly Test 1	28	火	28	木	28	日	28	火	28	金			
29	日	29	水	昭和の日 松濤祭	29	金	29	月	授業なし	29	水	29	土	Weekly Test 14	
30	月	30	木	30	土	Weekly Test 7	30	火	Ⅱ期試験	30	木	30	日		
31	火	31	日	31	日	31	金	31	金	31	月				

2027年

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
1	火	1	木	1	日	1	火	1	金	1	月
2	水	2	金	2	月	2	水	2	土	2	火
3	木	3	土	3	火	3	木	3	日	3	水
4	金	4	日	4	水	4	金	4	月	4	木
5	土	5	月	5	木	5	土	5	火	5	金
6	日	6	火	6	金	6	日	6	水	6	土
7	月	7	水	7	土	7	月	7	木	7	日
8	火	8	木	8	日	8	火	8	金	8	月
9	水	9	金	9	月	9	水	9	土	9	火
10	木	10	土	10	火	10	木	10	日	10	水
11	金	11	日	11	水	11	金	11	月	11	木
12	土	12	月	12	木	12	土	12	火	12	金
13	日	13	火	13	金	13	日	13	水	13	土
14	月	14	水	14	土	14	月	14	木	14	日
15	火	15	木	15	日	15	火	15	金	15	月
16	水	16	金	16	月	16	水	16	土	16	火
17	木	17	土	17	火	17	木	17	日	17	水
18	金	18	日	18	水	18	金	18	月	18	木
19	土	19	月	19	木	19	土	19	火	19	金
20	日	20	火	20	金	20	日	20	水	20	土
21	月	21	水	21	土	21	月	21	木	21	日
22	火	22	木	22	日	22	火	22	金	22	月
23	水	23	金	23	月	23	水	23	土	23	火
24	木	24	土	24	火	24	木	24	日	24	水
25	金	25	日	25	水	25	金	25	月	25	木
26	土	26	月	26	木	26	土	26	火	26	金
27	日	27	火	27	金	27	日	27	水	27	土
28	月	28	水	28	土	28	月	28	木	28	日
29	火	29	木	29	日	29	火	29	金	29	月
30	水	30	金	30	月	30	水	30	土	30	火
		31	土			31	木	31	日		

病 院 概 要

【病院概要】

病院敷地面積	10,986.15㎡
病院建設延面積	16,500.67㎡（地下1階、地上4階）
病院理念	建学の理念に立脚し、患者さん個人の尊厳を重んじた手厚い歯科医療を行う。 教学一致の不断の研鑽と高雅な学識、技法に基づき学生と研修歯科医に充溢した臨床教育、歯科医師の生涯教育を継続的に行い、人間性豊かな知識・技術・態度に優れた医療人を育成する。 真理を追求し、真理に基づいた歯科医療のために幅広く有意義な臨床研究を推進し、先進的かつ質の高い歯科医療を提供しつつ優れた医療人を育成し、歯科医学の発展と地域社会に貢献する。
基本方針	私たちは「やさしく、安全、親切で、確かな医療」を提供できる病院を目指します。
標榜科	歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、消化器内科、神経内科、整形外科、松本歯科大学二條皮ふ科クリニック※サテライト診療所
受付・診療時間	歯科診療部 初診受付 平日 8:30~11:00/13:00~16:00 土曜日 8:30~11:00 再診受付 平日 8:30~11:30/13:00~16:30 土曜日 8:30~11:30
診療時間	診療時間 平日 9:00~12:00/13:00~17:00 土曜日 9:00~12:00 内科・消化器内科・神経内科 初診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 再診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 診療時間 平日 9:00~12:00/14:00~17:00 ※土曜日は休診となります。 ※木曜日は午前予約のみ、金曜日は午後予約のみ 整形外科 初診受付 平日 8:30~10:30/14:00~16:00 再診受付 平日 8:30~11:30/14:00~16:30 診療時間 平日 9:00~12:00/14:00~17:00 ※土曜日は休診となります。 ※水曜日、金曜日の初診受付は午前中のみとなります。
休診日	日曜、祝日、創立記念日、夏季休業、年末年始休業等
患者数	2024年度1日平均外来 455人（医科を含む） 2024年度1日平均入院 5.5人（同）
病床数	病床数31床

主な設備

チェアーユニット 108台
歯科用3Dスキャナー、マイクロスコープ、インプラント3Dダイナミックナビゲーションシステム、往診車、歯科用レーザー装置、歯科用コンビームCT、ヘリカルCT装置、MRI装置

【カルテの閲覧】

レポート提出等で電子カルテの閲覧が必要になった場合は、担当医の許可を得て指示を仰ぐ。

【法令関係】

歯科医業を行っていくためには、種々の法令の制約を受けることになる。歯科医業に関連する法令としては、歯科医師法、薬機法、医療法、健康保険法（国民健康保険法）、保険医療機関及び保険医療養担当規則、歯科診療報酬点数表などがある。

歯科医師法

歯科医師の任務、免許、試験、業務等について定めた法律

薬機法

医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品に関する事項を規制し、これらの品質、有効性及び安全性を確保することを目的とする法律

医療法

医療を提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的とし、医療施設の計画的な整備、医療施設の人的構成、構造設備、管理体制等の規制、医療法人の規制等を行う法律

健康保険法

医療保険制度の中の1つの保険制度
勤労者（加入者）及びその家族が業務外の事由により病気やけがをしたり、死亡、出産した場合に備えて、被保険者と事業主とが保険料を負担して、被保険者及び被扶養者の保険事故に対して保険給付を行い、勤労者やその家族の生活の安定を図ることを目的とした法律

保険医療機関及び保険医療養担当規則

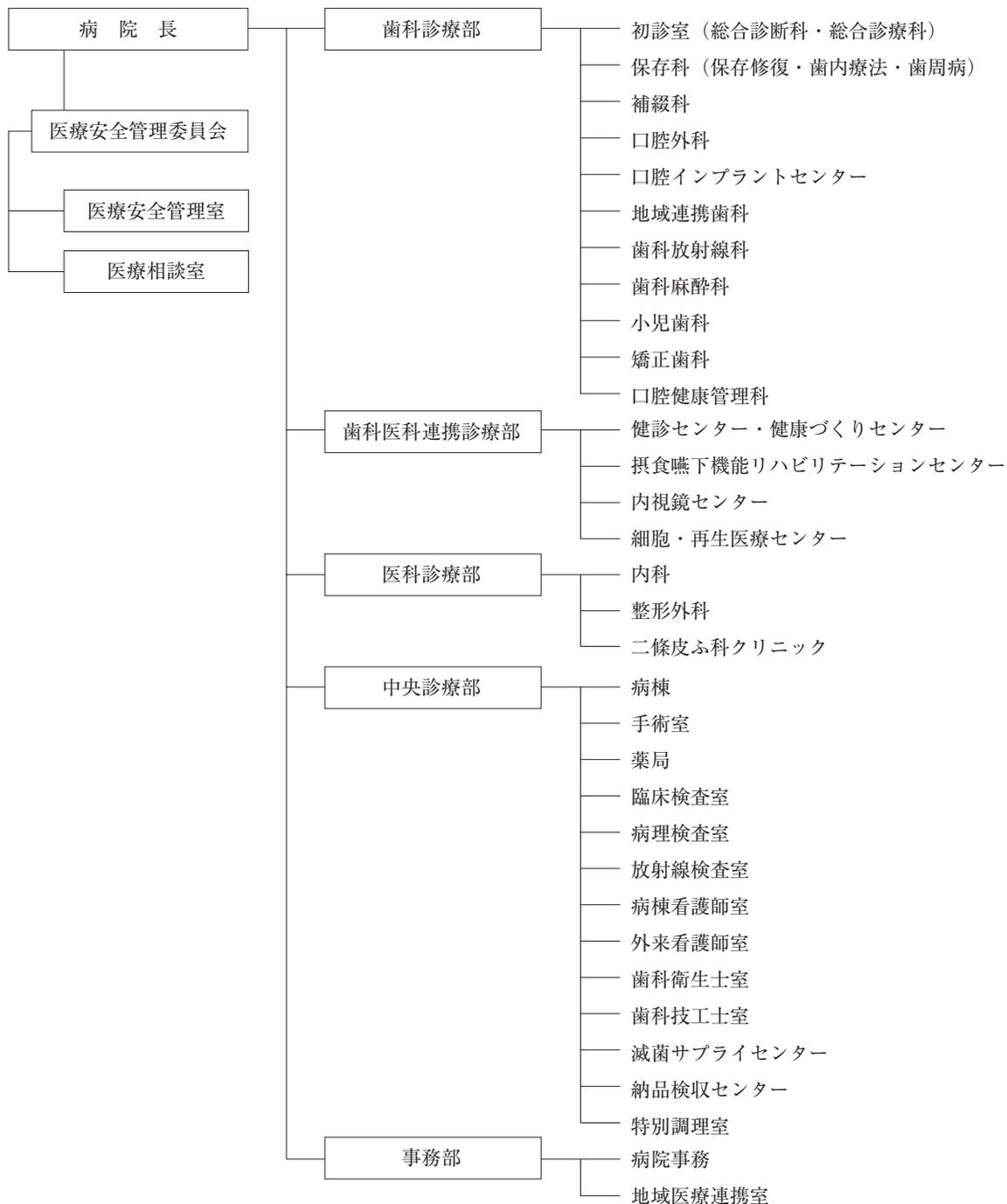
保険医療の原則を定めたものであり、保険医療機関が保険診療を行うにあたっての責務等を定めたものと、保険医が診療を行う際の診療方針等を定めたものの2部から構成されている。

歯科診療報酬点数表

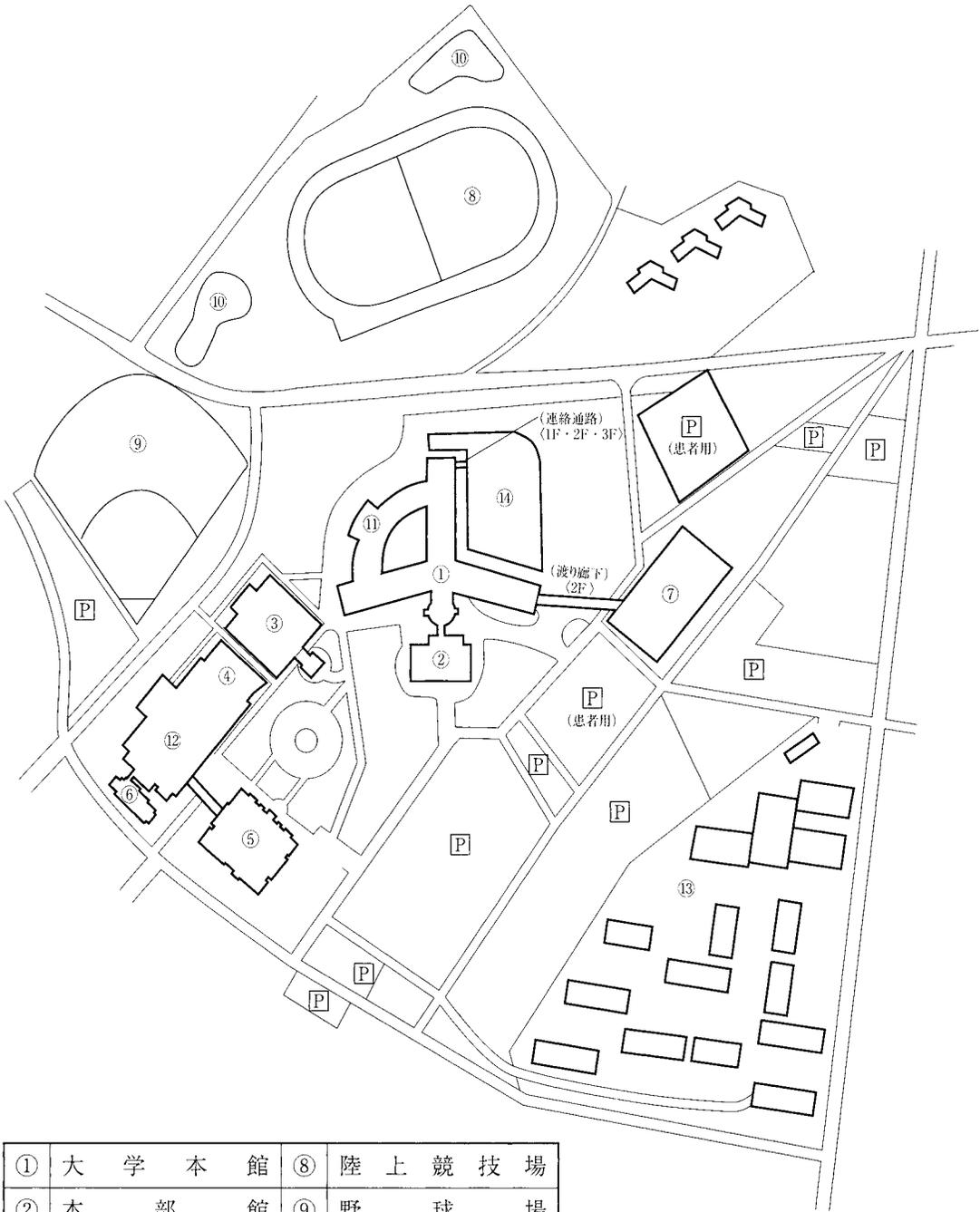
保険診療においては個々の医療行為を点数化し、診療報酬明細書（レセプト）として支払機関を通じて保険者に請求する。1点単価は10円であり、歯科点数表は基本診療科、医学管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、処置、手術、麻酔、放射線治療、歯冠修復及び欠損補綴、歯科矯正・病理診断、その他の各部から構成されている。歯科点数表は通常2年ごとに改定される。

【組織図】

病院の組織図は以下のようにになっている。病院の運営に係る重要事項は、歯科診療会議及び医科診療会議で審議される。臨床実習については、臨床実習運営委員会によりカリキュラムの策定・実習の評価・進級の予備判定等、運営が図られている。

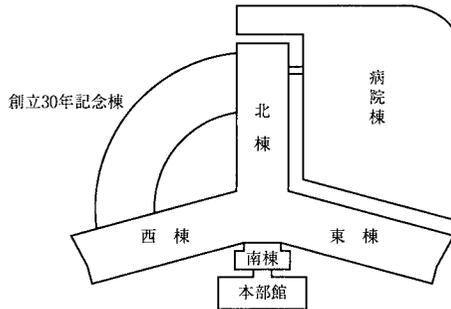


施設概要図



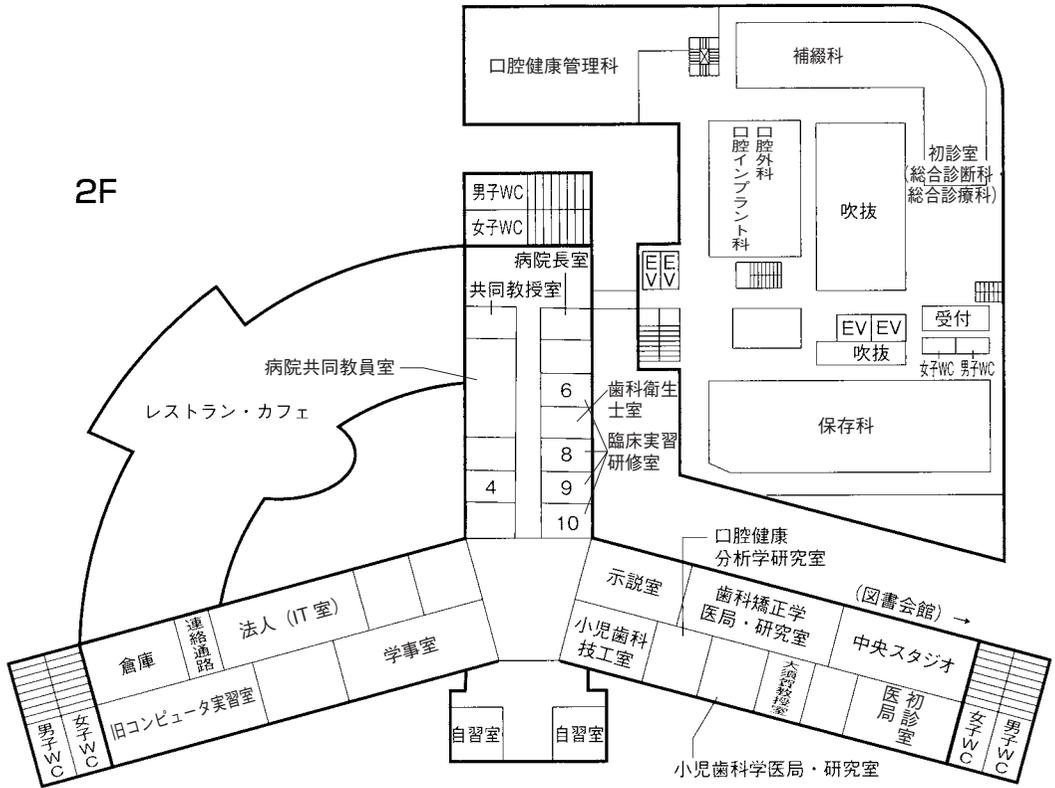
①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場
②	本 部 館	⑨	野 球 場
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟
⑤	講 義 館	⑫	総 合 歯 科 医 学 研 究 所
⑥	ハ イ テ ク セ ン タ ー	⑬	CAMPUS INN
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟

本部館 概略

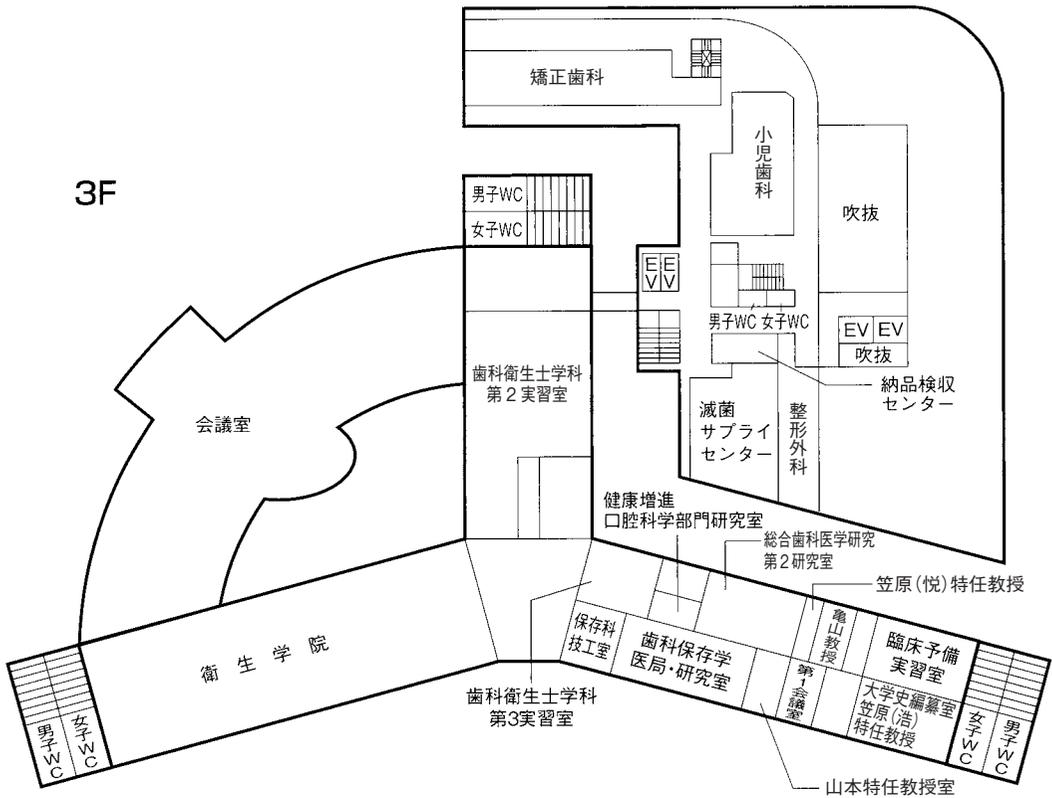


	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟	
7F	屋上	講堂			屋上			
6F					教室 (601、602)			
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 澁谷教授 (歯科麻酔学) (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5学年 ロッカー 一室			吉田教授 (微生物学) 村上教授 (病理学) 栗原教授 (口腔顎顔面外科学) 芳澤教授 ()			
4F	歯科技工士控室 歯科技工士技工室 増田教授 (歯科保存学) 内科医局 2	多目的 ホール		学生技工自習室 臨床予備自習室 鋳造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (音琴教授)	病棟 中央手術室 サービスステーション 談話室・相談室			
3F	衛生学院	歯科衛生 士学科第 2実習室	役員室 法人 (秘書 課) 法人 (財務)		山本特任教授 (病院総合診療 部門) 臨床予備実習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編纂室 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検取センター 滅菌サブライセンター 整形外科	会議室	
2F	学事室 法人 (IT室)	病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 事務局 経理室 法人 (総務)	自習室	大須賀教授 (小児歯科学) 川原教授 (歯科矯正学) 示談室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科、総合診療科)	レストラン カフェ	
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウンジ Beans café スコラ売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	庶務課 法人 (企画 調査質) 管理課	エント ランス 受付	田所教授 (解剖学) 今井教授 (地域連携歯科学) 保健室 山賀教授 (公衆衛生学) 衛生学院長室	地域連携歯科 守衛室 薬局 臨床検査室 内科 健診センター 内視鏡センター 婦人科	摂食嚥下機能リハビリ テーションセン ター 総合案内 総合受付 自動精算コー ナー 病院事務室 医療相談室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 霊安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター		

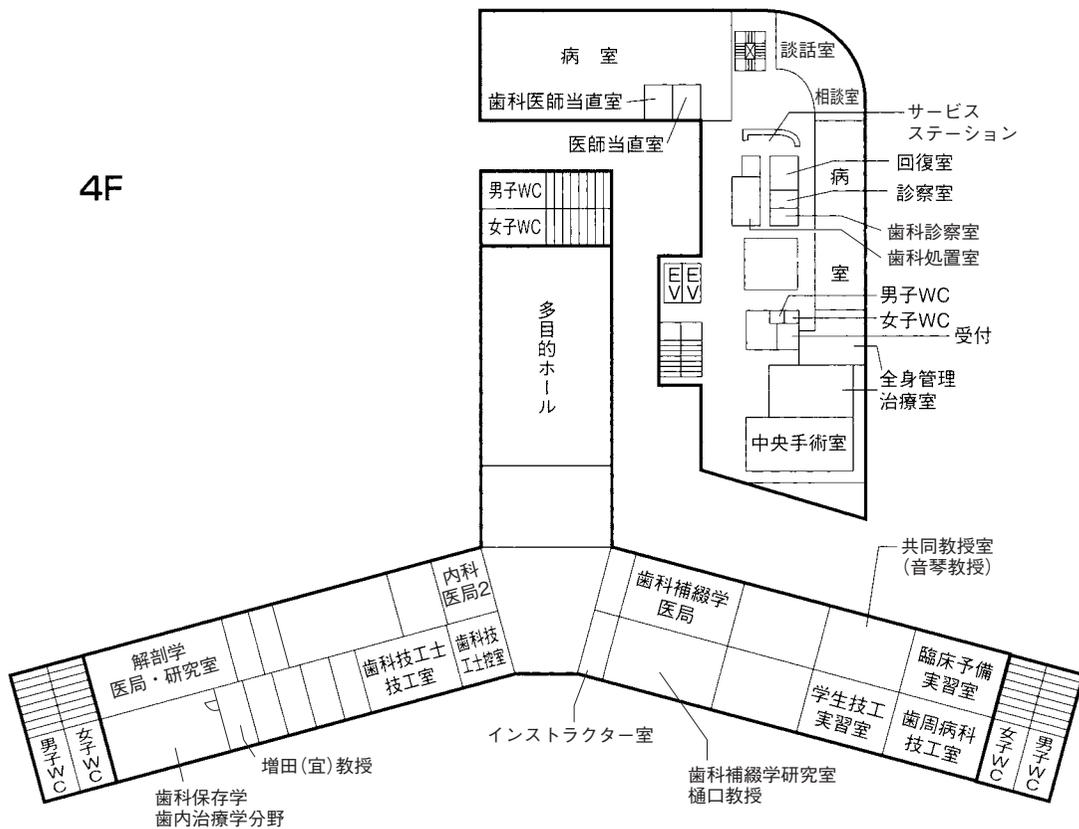
2F



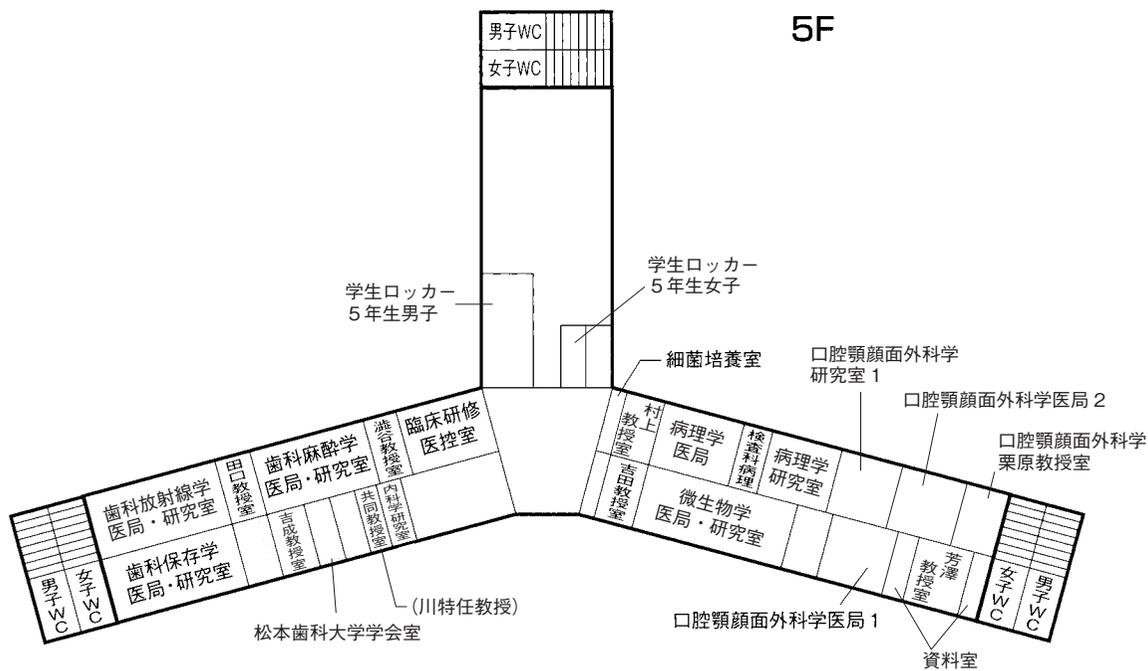
3F

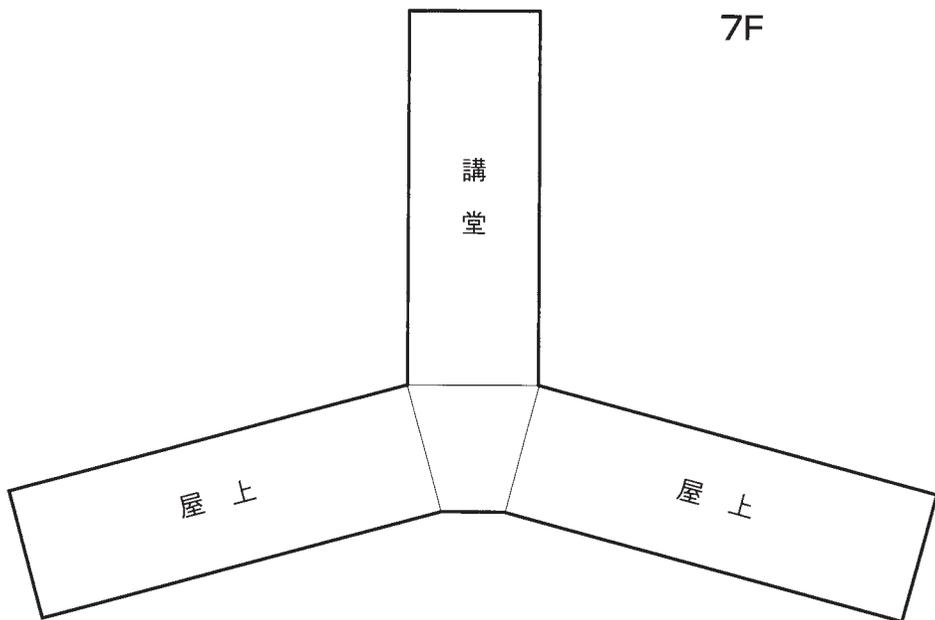
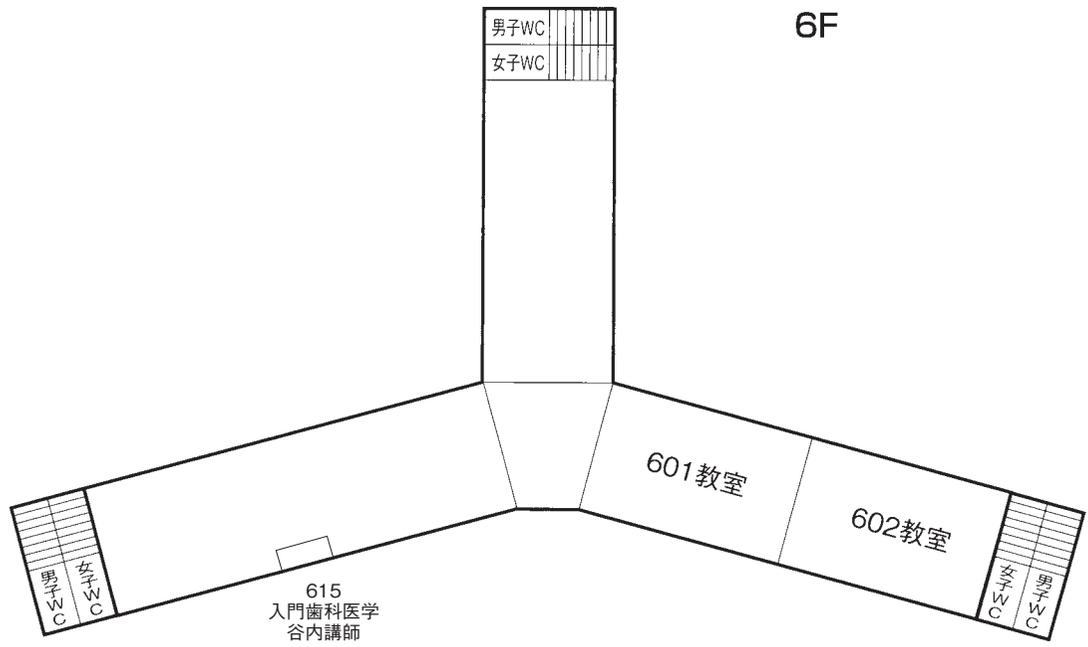


4F



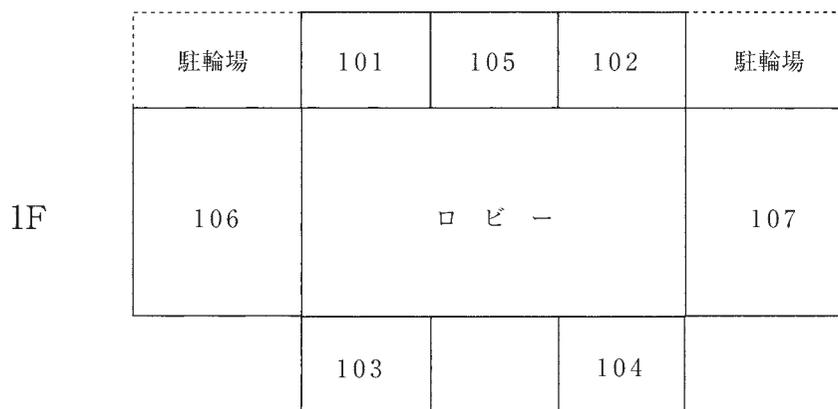
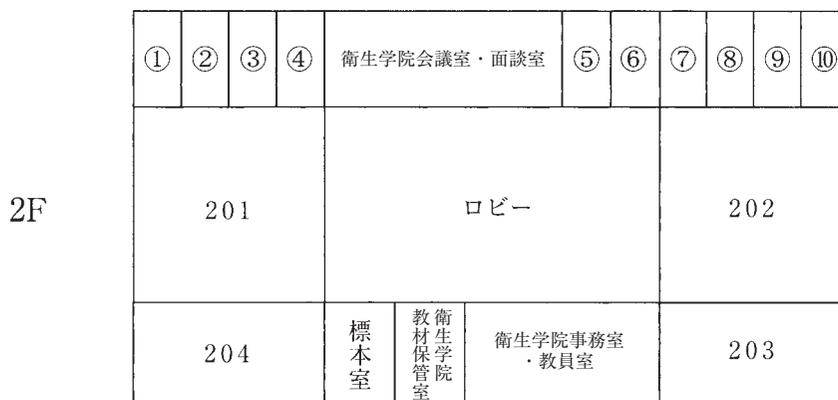
5F



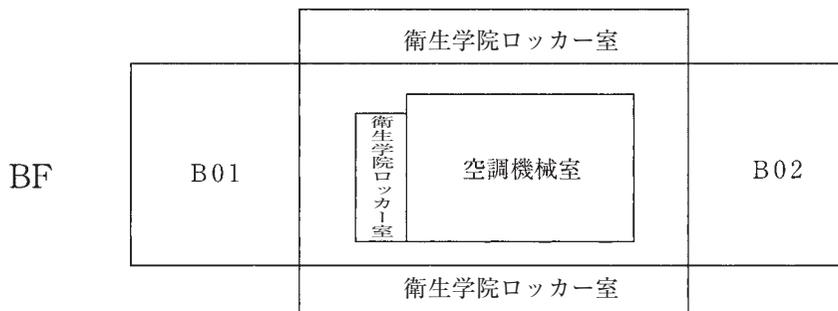


講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

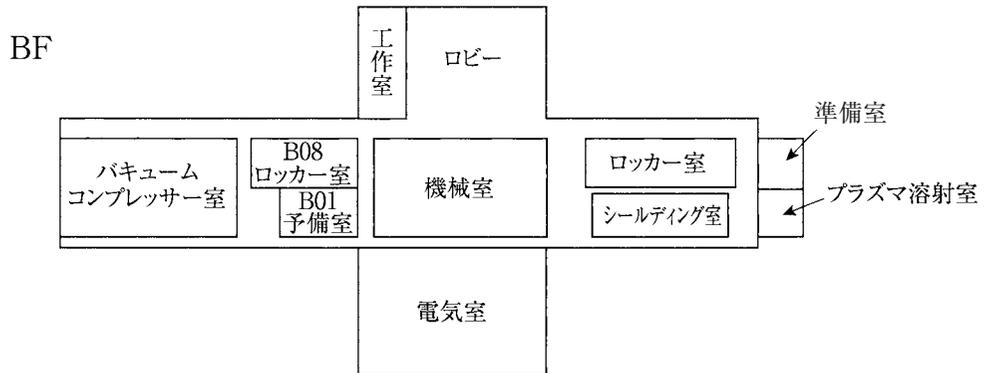


(正面玄関)

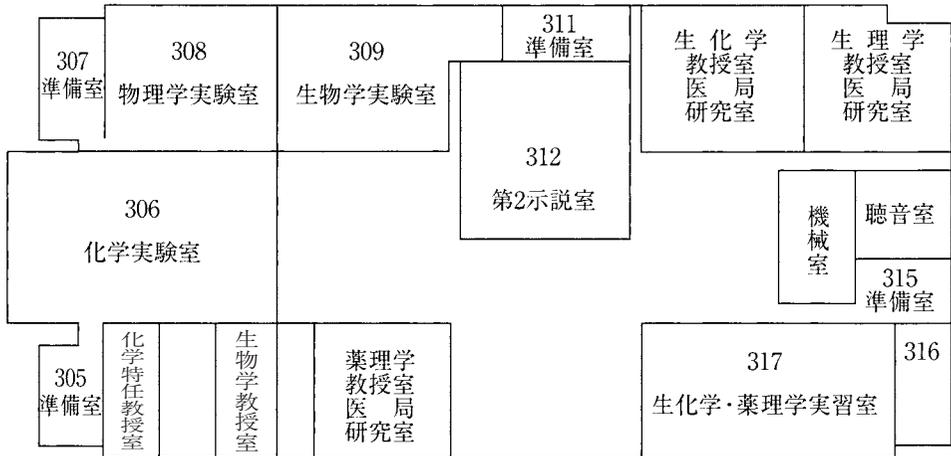


実習館概要

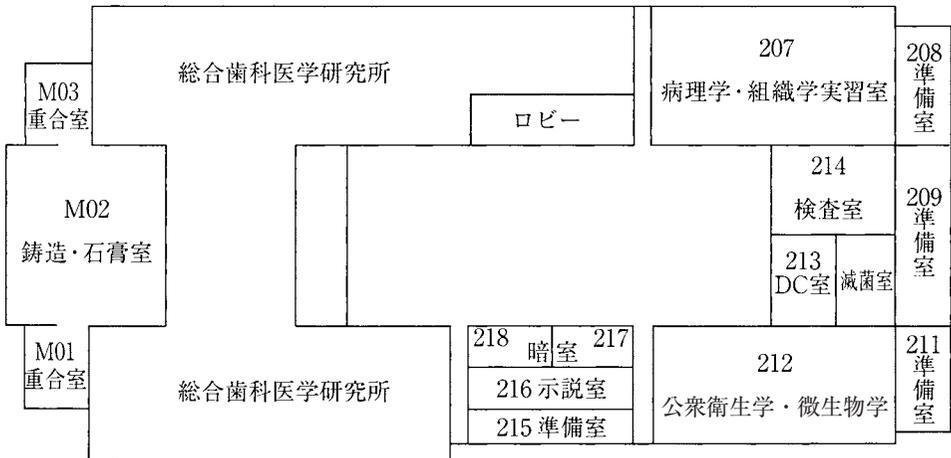
3 F	北川教授（生理学） 宇田川教授（生化学） 荒教授（薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（理工学） 実習室（101、113） 共同教員室
B F	学生ロッカー室



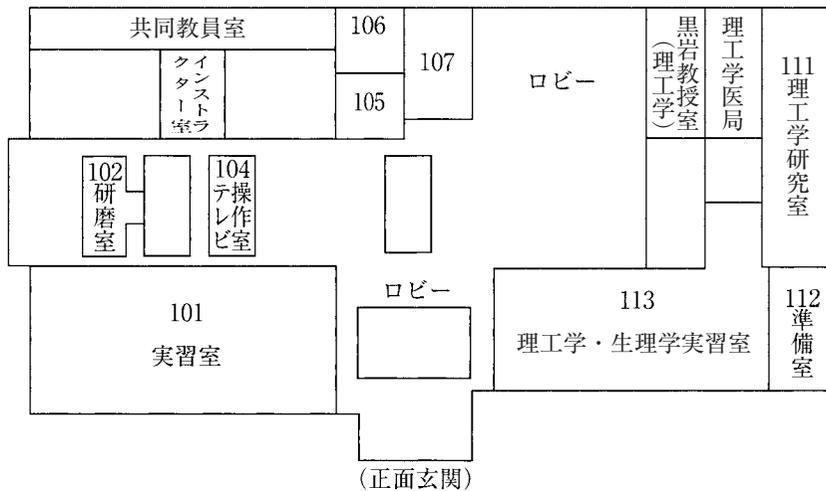
3F



2F

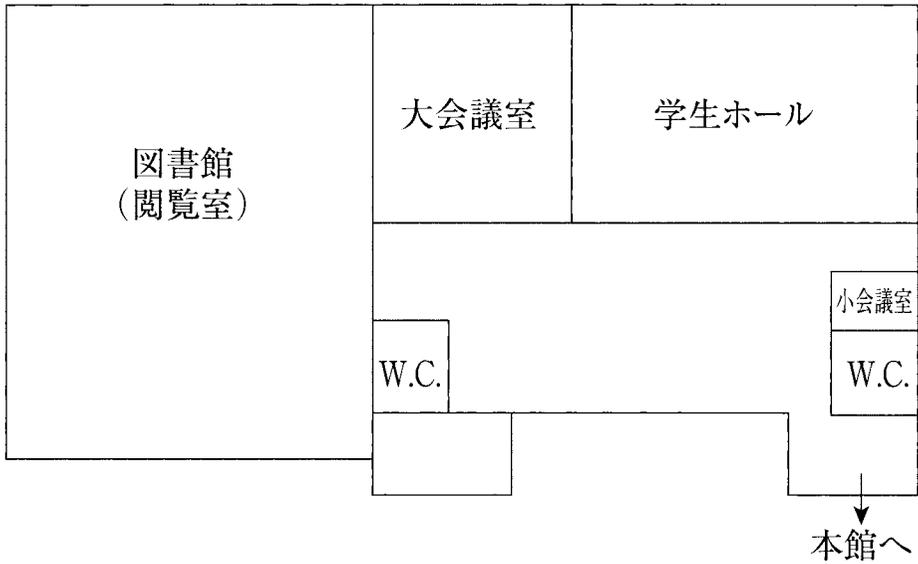


1F

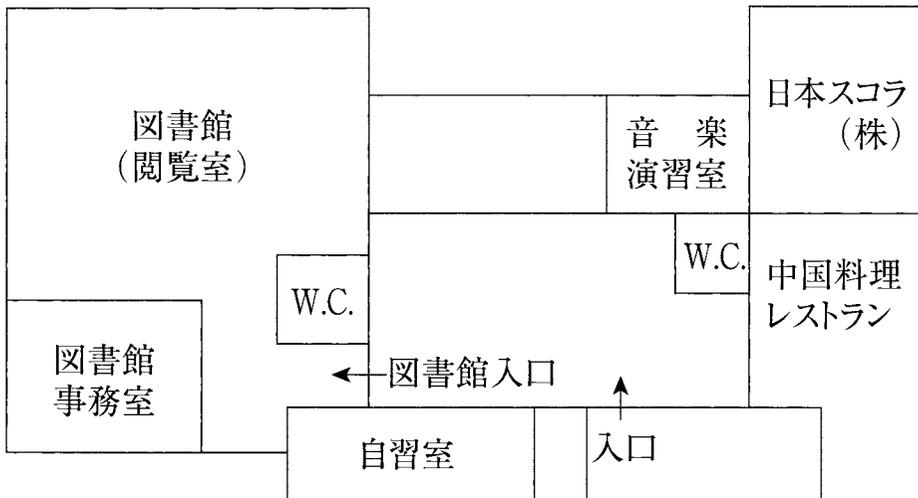


図書会館概要

2F

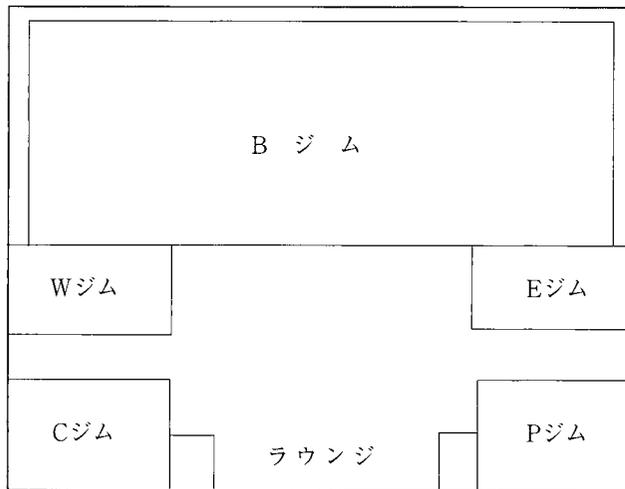


1F

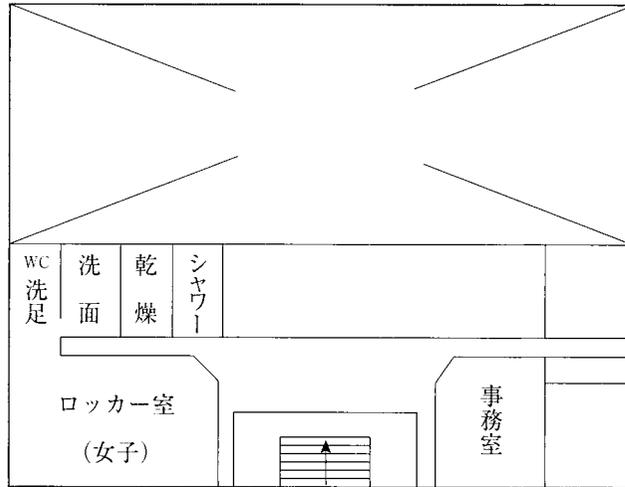


体育館概要

3F

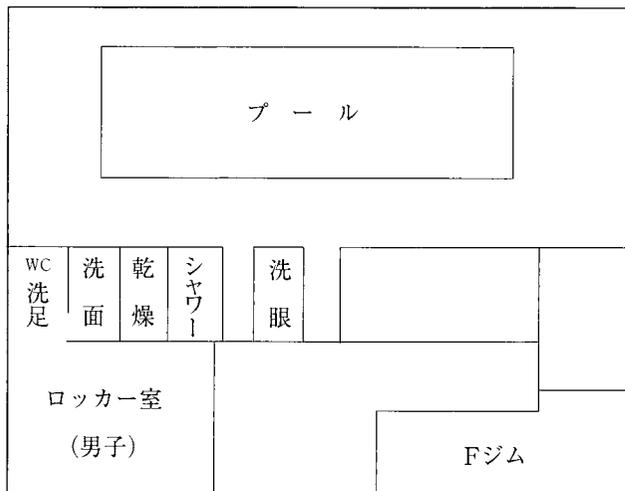


2F

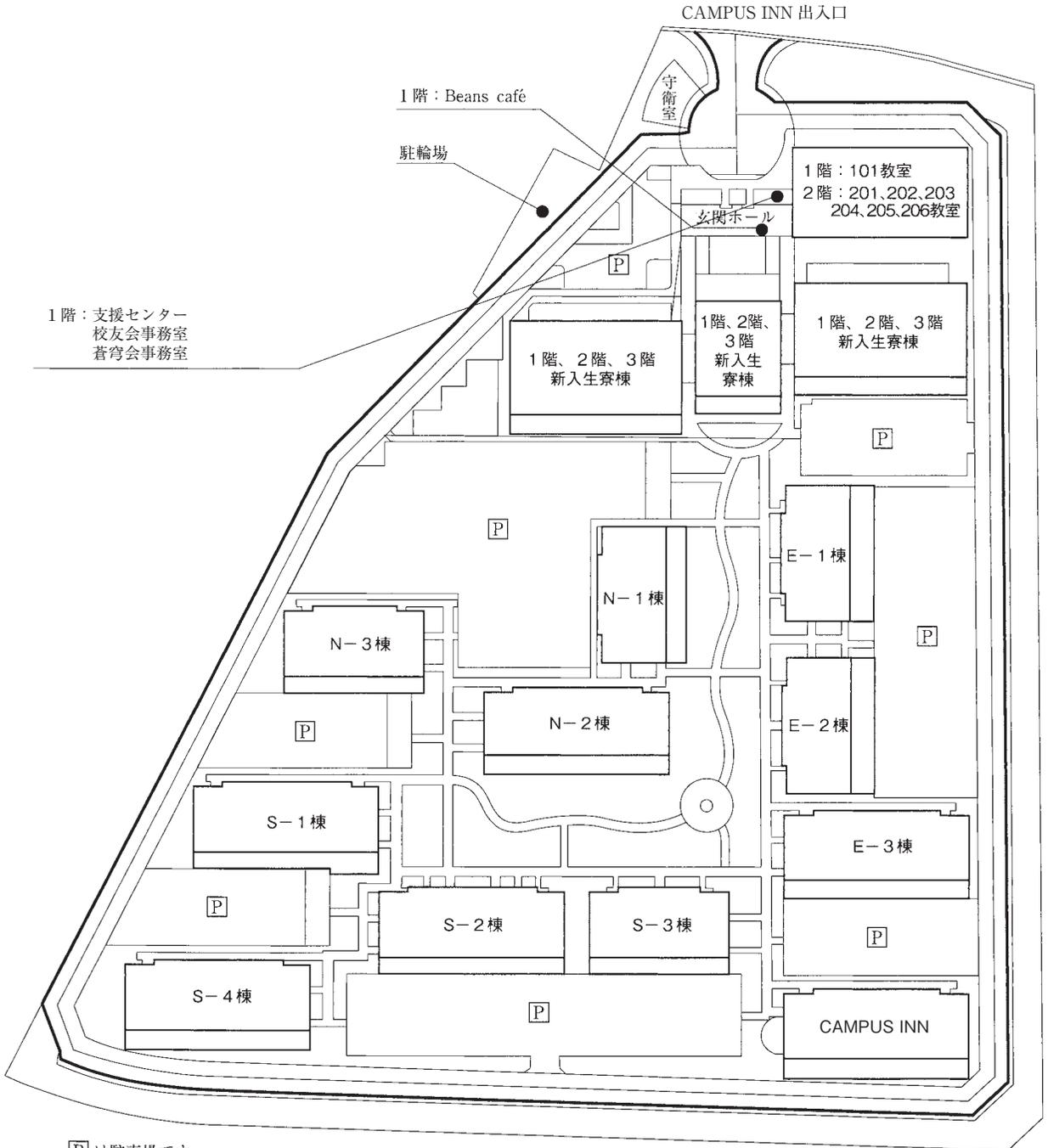


入口

1F



CAMPUS INN 配置図



授業大要（シラバス） 2026 年度

発 行 2026 年 3 月

松 本 歯 科 大 学

宇 田 川 信 之

印 刷 日 本 ハ イ コ ム 株 式 会 社

